

令和 4 年度 大正区事業・業務計画書

5 「区民が主役」のまちへ

大 阪 市 大 正 区

令和 4 年 4 月 1 日 策定

「大正区将来ビジョン」「事業・業務計画書」の概要及び位置づけについて

大正区将来ビジョン2022

平成30年度から概ね5年間、区長が区政を預かる立場として、また区内の子どもたちの教育・子育てについても考える立場として、大正区が抱えるさまざまな課題に対し、どのように対応し、どのような大正区をめざすべきかを、区民の方々に明らかにするものです。将来ビジョンでは、縦割行政を排しつつも区政運営のテーマを分野別にわかりやすく「見える化」するため、次の5つの柱で将来ビジョンの各論をまとめております。

(将来ビジョン5つの柱)

- 【1】だれもが健康で安心して暮らせるまちへ(主に福祉、健康、生活保護、人権)
- 【2】快適で安全なまちへ(主に防災、防犯、生活環境)
- 【3】次世代の未来が輝くまちへ(主に子育て、家庭・学校・地域教育)
- 【4】活力ある元気なまちへ(主にまちの活性化・ものづくり)
- 【5】「区民が主役」のまちへ(主に地域活動、広報、広聴、窓口サービス)

大正区事業・業務計画書

年間を通じて必要な事務を明確化し、日々進捗管理すること、また、実施している事業がまちの将来にどのように関わっているのかを大正区将来ビジョンを通じて意識し、実施事業の成果を最大限に引き出すことを目的として、大正区役所で執り行う事業・事務の全てについて、計画を立案しています。

本書の構成について

本書では、大正区将来ビジョン5つの柱にそって、事業・業務計画を体系化するため、5つの柱を構成する各施策を1つの単位とし、事業・業務計画を紐付けております。また、5つの柱に該当しない、いわゆる内部事務のような事務は、その他に集約しています。

(凡例)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1 だれもが健康で安心して暮らせるまちへ | 2 快適で安全なまちへ |
| 1-〇 各施策 | 2-〇 各施策 |
| 1-〇-〇 事業・業務計画書 | 2-〇-〇 事業・業務計画書 |
| 1-〇-〇 事業・業務計画書 | 2-〇 各施策 |
| 1-〇 各施策 | 2-〇-〇 事業・業務計画書 |
| 1-〇-〇 事業・業務計画書 | 2-〇-〇 事業・業務計画書 |
| 1-〇-〇 事業・業務計画書 | |
| 1-〇-〇 事業・業務計画書 | |

【表の記載項目】

- ・修正箇所：令和4年度事業・業務計画書の当初からの修正箇所がある場合、○を記載しております。
- ・スケジュール：○（予定通り進捗）、△（一部進捗に遅れ）、×（計画の変更を必要とするほど進捗の遅れ）、－（該当する項目なし）
- ・自己評価： ◎：目標値を大幅に上回り達成（目標数値の+10%以上）、○：目標値を達成（目標数値の0%以上～+10%未満）
△：目標値を下回り未達成（目標数値の－10%以上～0%未満）、×：目標値を大幅に下回り未達成（目標数値の－10%未満）

						スケジュール				自己評価	
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	業績目標	成果目標
5 「区民が主役」のまちへ											
5-1	地域活動の活性化	1									
5-1-1	大正区コミュニティ育成事業	3			地域協働課 (地域協働)	○	○	○	○	○	○
5-1-2	地域まちづくり実行委員会に対する支援事業	5			地域協働課 (地域協働)	○	○	○	○	○	△
5-1-3	地域まちづくり実行委員会のつながりの拡充にかかる支援	7			地域協働課 (地域協働)		○	○	○	○	○
5-1-4	区民協働による魅力活性化事業	9			地域協働課 (地域協働)	○	○	○	○	△	◎
5-1-5	区役所コンサート	11			地域協働課 (地域協働)	○	○	○	○	◎	◎
5-1-6	生涯学習の実施支援	13			保健福祉課 (こども教育)	○	○	○	○	△	×
5-1-7	はぐくみネットの連携強化支援	15			保健福祉課 (こども教育)		○	○	○	△	○
5-1-8	学校体育施設の地域への開放	17			保健福祉課 (こども教育)		○	○	○	○	×
5-1-9	スポーツ推進委員活動の支援	19			地域協働課 (地域協働)		○	○	○	○	◎
5-1-10	大正区成人式の実施	21			地域協働課 (地域協働)		○	○	○	×	○
5-1-11	青少年指導員・青少年福祉委員活動の支援	23			地域協働課 (地域協働)		○	○	○	○	△

	ページ	重複 番号	新規	担当課	修正箇所	スケジュール				自己評価	
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	業績目標	成果目標
5-1-12 区役所附設会館の管理運営	25			地域協働課 (地域協働)	○	○	○	○	○	△	△
5-1-13 エリア価値の向上に向けた地域活性化事業	27	4-1-3	○	地域協働課 (地域協働)	○	×	○	○	○	○	◎
5-2 区民ニーズの把握	29										
5-2-1 「市民の声」などの受付・回答	30			総務課		○	○	○	○	△	△
5-2-2 区民意識調査の実施	32			総務課	○	○	○	○	○	×	△
5-2-3 区民等の多様な意見の把握・反映（区政会議）	34			総務課	○	○	○	○	○	○	△
5-3 情報発信・伝達力の強化	36										
5-3-1 広報紙「こんにちは大正」の製作（企画編集・印刷・全戸配布）	37			総務課		○	○	○	○	◎	△
5-3-2 区の行政情報・魅力発信の充実	39			総務課	○	○	○	×	×	×	○
5-4 窓口サービスの充実	41										
5-4-1 窓口サービスの充実	43			窓口サービス課		○	○	○	○	○	×
5-4-2 マイナンバーカードの普及への取組み	45			窓口サービス課		○	○	○	○	○	×
5-4-3 窓口サービスにおける不適切事務の撲滅	47			窓口サービス課		○	○	○	○	○	×
5-4-4 国民健康保険料の未収金の減少及び未納防止	49			窓口サービス課		○	○	○	○	○	○
5-4-5 庶務業務及びコンプライアンスの確保	51			総務課	○	○	○	○	○	○	◎
5-4-6 弁護士による無料法律相談の実施	54			総務課		○	○	○	○	○	○
5-4-7 不動産に関する無料相談の実施	56			総務課		○	○	○	○	○	◎
5-4-8 区庁舎・設備等の維持管理	58			総務課	○	△	○	△	○	×	×
5-4-9 住民情報業務等の適切な運営管理	60			窓口サービス課		○	○	○	○	○	○
5-4-10 保健福祉課（福祉グループ）窓口受付等業務	62			保健福祉課 (福祉)		○	○	○	○	○	○
5-4-11 介護保険料の収納率の向上	64			保健福祉課 (介護)		○	○	○	○	○	○
5-4-12 保健福祉課（介護保険グループ）窓口受付等業務	66			保健福祉課 (介護)		○	○	○	○	○	×
5-4-13 保健福祉課（健康づくり・保健活動グループ）窓口受付等業務	68			保健福祉課 (健康づくり)		○	○	○	○	○	◎
5-4-14 保健福祉課（こども・教育グループ）窓口受付等業務	70			保健福祉課 (こども教育)		○	○	○	○	○	×

【5】「区民が主役」のまちへ

5-1 地域活動の活性化

◆ 目指すべき将来像

各地域活動協議会活動が取り組む「防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組み及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組」が自律的に進められている状態。

◆ 施策

「大正区地域包括支援体制（大正区地域まるごとネット）」を構築するにあたり、地域活動協議会が、その中心的役割を担い、地域課題の解決を自律的に進められる状態となるよう支援していきます。

◆ 施策目標

【区民アンケート】

- ・地域活動協議会を知っている区民の割合

平成29年度 結果19.1% 平成30年度 目標35% ⇒ 結果42.7%

令和元年度（平成31年度） 目標40% ⇒ 結果40.2%

令和2年度 目標41% ⇒ 結果53.7%

【区民意識調査】

- ・身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合

平成29年度 結果46.7%

平成30年度 目標49.2% ⇒ 結果50.9%

令和元年度（平成31年度） 目標51.7% ⇒ 結果50.8%

- ・各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合

平成29年度 結果47.6% 平成30年度 目標48% ⇒ 結果49.6%

令和元年度（平成31年度） 目標50% ⇒ 結果51.5%

- ・区民が地域活動協議会が取り組む地域活動を知っていると回答した件数

令和2年度 399件（令和3年度 目標400件）

◆ 具体的取組（事業・業務計画書）

取組番号	事業名
5-1-1	大正区コミュニティ育成事業
5-1-2	地域まちづくり実行委員会に対する支援事業
5-1-3	地域まちづくり実行委員会のつながりの拡充にかかる支援
5-1-4	区民協働による魅力活性化事業
5-1-5	区役所コンサート
5-1-6	生涯学習の実施支援
5-1-7	はぐくみネットの連携強化支援
5-1-8	学校体育施設の地域への開放
5-1-9	スポーツ推進委員活動の支援
5-1-10	大正区成人式の実施
5-1-11	青少年指導員・青少年福祉委員活動の支援
5-1-12	区役所附設会館の管理運営
5-1-13	エリア価値の向上に向けた地域活性化事業

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-1	大正区コミュニティ育成事業	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区において、これまで培われてきた社会教育関係団体等のノウハウを活かすとともに、地域活動団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等が参画する仕組みづくりを構築し、区全体や、身近な地域毎で住民主体のコミュニティの育成をはかることで、区や地域への愛着を高め、「自ら地域のことは自らの地域で決める」との自律した意識のもと、地域福祉、地域防災、地域コミュニティの充実と区民相互のつながりづくりの活性化を図ることを目的とする。コミュニティを基盤とした地域防災、地域福祉をはじめとするまちづくり活動への住民の参加促進を図ることを目的とする。
	内容	地域コミュニティの推進に向け、日頃、地域活動と関わりの少ない若い世代をはじめ多くの企業・区民が、地域活動団体・NPO等をはじめとした市民活動団体・企業等と協働しながら企画・実施する。事業実施にあたっては、以上の趣旨を踏まえ、多種多様な取組を通じて、住民同士のコミュニティづくりとともに、多くの人々が気軽に参加できる事業として実施するため、地域コミュニティづくりに精通した民間事業者から広く企画提案を募集する。上記目的を達成するためにコミュニティの輪を広げる事業、文化芸術に親しむ事業等、区民・各種団体と協働しながら実施する。また令和4年度は大正区制90周年を機に、区民の愛着が高い噴水広場の改修や、まちの魅力を写し撮ったフォトコンテストなどを行い、大正区の良さ、魅力・文化・歴史を改めて認識し、地域への関心を深めるとともに、さらなるにぎわいの創出を図る。90周年を区全体として祝い、盛り上げていくため、地域各団体と区役所が協力し、区の魅力を発信する記念事業を実施する。
	予算額(予算科目)	6,266千円(区政推進基金寄附金2,496千円含む)
	事業実施期間(回数)	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	事業対象者(人数)	区内全10地域
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式
	募集要項のポイント	本事業は、住民主体のコミュニティの育成をはかり、みんなが話し合い、協力しながらまちづくりを推進ことを目的としており、広く地域住民や各種団体が参画する仕組みを構築し、様々な事業を展開するうえで、行政にはない新たな発想や、民間事業者の高いノウハウを求めており、価格以外の要素も含めて総合的に判断する。
	仕様書のポイント	各事業を単にイベントとして開催するのではなく、広く地域住民や地域の各種団体が参画する仕組みを構築でき、地域活動協議会や区民等との協働のうえ、住民主体のコミュニティの育成につながる事業として「大正区制90周年記念業務(区民まつり含む)」「区民ギャラリー業務」の企画提案を求める。
	選考委員等選考方式	専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月	【1月】プロポーザル公募開始		○	○
	4月 6月	プロポーザル公募開始 プレゼンテーション・選定会議 事業報告書等提出 事業実施(区民ギャラリー、フォトコンテスト等準備)	ホームページに募集案内を掲載	○	○
	7月 9月	事前準備(各種団体、企業等との調整) 事業実施(区民ギャラリー、フォトコンテスト等準備、噴水改修)		○	○
	10月 2月	事業実施(区民まつり、記念式典)		○	○
	3月 1月	【1月】プロポーザル公募開始⇒応募なかったため3月に再募集 【3月4月】プレゼンテーション・選定会議 事業報告書等提出 事業実施(区民ギャラリー)		○	×
備考					

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		①区制90周年記念業務②区民ギャラリー業務		
イベント等開催関係	開催日時	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
	開催場所	大正区役所他		
	区役所の主催等	区役所		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	区内各種団体・区内業種団体・企業		
	目標事業規模	区内10(小学校下)地域の参加		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	・大正区制90周年記念業務(通年) 記念式典(10月1日) モニュメントを活用したPR 記録・展示 ・区民まつり業務(10月第3日曜日) ・区民ギャラリー業務(通年)		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	区広報紙、ホームページ、ポスター、チラシ等			
その他他課との連携等		総務課、政策推進課地域協働課、保健福祉課、窓口サービス課		
前年度実績		「大正区民まつり」(昨年度及び今年度中止)が大正区における地域への愛着と誇りの醸成につながると答えた割合 73.4%(令和3年度)		
業績目標	実績	区内10(小学校下)地域の参加	区内10(小学校下)地域の参加	自己評価 ○
成果目標	実績	・区や地域への愛着の向上につながっていると答えた割合: 73.4%以上(「大正区民まつり」「大正区制90周年記念フォトコンテスト」「大正区制90周年記念式典(演奏会)」の平均)	区や地域への愛着の向上につながっていると答えた割合: 80.5%	○
中期展望		コミュニティを基盤とした地域防災、地域福祉をはじめとする住民主体のまちづくりが行われている		
成果目標が中期展望に寄与する理由		区全体や、身近な地域毎で住民主体のコミュニティの育成をはかり、互いにつながり支え合うことで「自らの地域のことは自らの地域で決める」との区民の自律意識が向上し、中期展望寄与すると考えられる。		
SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう		
	11	住み続けられるまちづくりを		
修正履歴	課名、成果目標の修正			

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-2	地域まちづくり実行委員会に対する支援事業	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	地域まちづくり実行委員会が準行政的機能や総意形成機能を担うとともに、「地域福祉」、「地域防災」、「地域コミュニティ」の強化をはじめとする各地域の特性に即した課題の解決に向けた取組をより一層自律的に進めていけるよう、適切な支援を行う。
	内容	【財政的支援】 ・区長指定の活動分野における、各地域の自律的な地域活動および地域まちづくり実行委員会の運営に対し、地域活動協議会補助金を交付する。 【機能的支援】 ・地域の実情や特性に即した地域運営を促進するため、中間支援組織を活用した積極的支援を行う。
	予算額(予算科目)	41,281千円
	事業実施期間(回数)	令和4年4月～令和5年3月
	事業対象者(人数)	区内全10地域まちづくり実行委員会
委託関係	契約・入札方法	【機能的支援】公募型プロポーザル方式
	募集要項のポイント	地域まちづくり実行委員会に期待される機能を備えるための効果的・効率的な支援を行うことのできる民間事業者を選定するため、支援手法に関する専門知識、ノウハウや経験など価格以外の要素も含めて総合的に判断する。
	仕様書のポイント	地域福祉、地域防災機能の強化、情報発信力の強化に対する支援等に重点を置いた取組を通じて、各地域まちづくり実行委員会を中心とした地域コミュニティの強化につながるよう、各地域の実情に応じた効果的かつ積極的な支援策について、企画提案を求める。
	選考メンバー等選考方式	まちづくり、地域コミュニティの運営に関する有識者

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5日 3月	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【2月】令和4年度補助金申請締切 【2月】令和4年度中間支援組織にかかる事業者選定会議 【3月】令和3年度補助金事業の終了		○
	4月5日	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【4月】令和3年度補助金事業決算、令和4年度補助金交付決定 【5月】令和4年度補助金事業説明会		○
	7月5日	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【9月】令和4年度補助金事業中間チェック説明会		○
	10月5日	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【 11 12月】令和5年度補助金事業にかかる申請説明会 【 12 月】令和5年度中間支援組織にかかる事業者公募開始	区広報紙	○
	3月5日	【通年】地域まちづくり実行委員会の自律的運営に対する効果的・積極的支援 【 1 1月】令和5年度中間支援組織にかかる事業者公募開始 【2月】令和5年度補助金申請締切 【 23 月】令和5年度中間支援組織にかかる事業者選定会議 【3月】令和4年度補助金事業の終了		○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容	
講座・イベント・会議名		地域活動協議会補助金にかかる説明会	
イベント等 開催関係	開催日時	5月、9月、11月	
	開催場所	区役所及び各地域	
	区役所の主催等	主催	
	その他主催団体・組織等	－	
	共催団体・組織等	－	
	後援団体・組織等	－	
	目標事業規模	－	
	その他留意事項	－	
	イベント等 当日タイムテーブル	－	
	挨拶者	大正区長及び大正区副区長	
	来賓紹介	－	
	祝電紹介の方法	－	
	動員の方法	－	
その他他課との連携等		準行政的機能や総意形成機能を担うとともに、「地域福祉」、「地域防災」、「地域コミュニティ」の強化をはじめとする各地域の特性に即した課題の解決に向けて取り組む地域まちづくり実行委員会の活動は、区政に密接に関わるものであるとともに、その活動分野は多岐にわたることから、全庁的に連携し支援する必要がある。	
前年度実績		・地域活動協議会補助金の趣旨について、地域まちづくり実行委員会の会議の場などで説明を行った件数3回(R3) ・地域まちづくり実行委員会を知っている区民の割合 57.5%(R3) ・地域まちづくり実行委員会の構成団体が、大阪市やまちづくりセンター等から自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合89.1%(R3) ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合 89.9%(R3)	
業績目標	実績	・各地域まちづくり実行委員会が、区長の指定する分野の事業を実施すること(事業数・内容は各地域の実情に応じて異なる) ・地域活動協議会補助金の趣旨について、地域まちづくり実行委員会の会議の場などで説明を行った回数 3回	・各地域まちづくり実行委員会が、区長の指定する分野の事業を実施する(事業数・内容は各地域の実情に応じて異なる)10地域 ・地域活動協議会補助金の趣旨について、地域まちづくり実行委員会の会議の場などで説明を行った回数 3回 ○
成果目標	実績	・地域まちづくり実行委員会を知っている区民の割合：前年度(57.5%)以上 ・地域まちづくり実行委員会の構成団体が、大阪市やまちづくりセンター等から自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合：前年度(89.1%)以上 ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合：前年度(89.9%)以上	・地域まちづくり実行委員会を知っている区民の割合：55.6% ・地域まちづくり実行委員会の構成団体が、大阪市やまちづくりセンター等から自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合：91.4% ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合：88.3% △
中期展望		各地域まちづくり実行委員会の取り組む「防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組み及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組」が自律的に進められている。	
成果目標が中期展望に寄与する理由		地域運営に取り組む地域まちづくり実行委員会の構成団体に対し適切な支援が実施され、同実行委員会が取り組む地域活動が地域住民に認知されることで、自律的な地域運営が推進されることから、中期展望に寄与することが期待できる。	

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを
	—	
	—	

修正履歴	①令和5年度補助金説明会を11月から12月へ修正(各地域委員長との日程調整の結果) ②令和5年度中間支援組織にかかる事業者公募開始を12月から1月へ修正 ③令和5年度中間支援組織にかかる事業者選定会議を2月から3月へ修正(②③:事務の効率化を図るためコミュニティ育成事業の公募スケジュールに合わせて実施することとしたため)		
------	---	--	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-3	地域まちづくり実行委員会のつながりの拡充にかかる支援	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	各地域まちづくり実行委員会が地域課題の解決を自律的に進められる状態となるよう、各団体間での情報交換や情報共有を促し、各地域の「互助・共助」の取組みの活性化を図ることを目的とする。
	内容	【大正区地域まちづくり実行委員会委員長会の開催】 区施策への協議・議論の場として、各地域まちづくり実行委員会委員長等と意見交換を行うとともに、各団体間での情報交換や情報共有を行う。 また、各地域まちづくり実行委員会が地域自治の中心的役割を担うために必要な、総意形成機能を発揮する機会を促す。 (例) ・地域活動協議会補助金の活用にかかる決定 ・地域要望のとりまとめ ・区から地域に依頼する各種委員の各地域での推薦者の決定 ・街路樹の剪定など、区や局が実施する各地域の固有案件にかかる意見聴取 ・地域集会施設の建替にかかる最終決定 など 【地域担当職員による地域情報の共有】 地域の自律的な地域運営を支援し、区民が主役の区政運営を推進するため、地域担当制職員による地域行事や地域活動、地域団体の会議等への参加や地域の担い手へのヒアリング等による地域情報の把握及び整理を行う。
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	区内全10地域活動協議会
	契約・入札方法	—
委託関係	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—
		—
		—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5月3月	【1月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 令和4年度区役所事業などについて 審議・協議・意見交換など		○
	4月5月	【4・5月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 区役所への申出制度の紹介について 審議・協議・意見交換など 月1回程度の地域担当制職員による全体会議の開催 地域担当制職員による各地域団体の会議等への参加および情報共有		○
	7月9月	【7・9月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 地域活動協議会補助金中間チェックについて 審議・協議・意見交換など 月1回程度の地域担当制職員による全体会議の開催 地域担当制職員による各地域団体の会議等への参加および情報共有		○
	10月12月	【10・11月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 令和5年度補助金申請について 審議・協議・意見交換など 月1回程度の地域担当制職員による全体会議の開催 地域担当制職員による各地域団体の会議等への参加および情報共有		○
	3月5月	【1・3月】地域まちづくり実行委員会委員長会開催 令和4年度補助金の決算について、令和5年度区役所事業について 審議・協議・意見交換など 月1回程度の地域担当制職員による全体会議の開催 地域担当制職員による各地域団体の会議等への参加および情報共有		○
備考	7 / 71 ページ			

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大正区地域まちづくり実行委員会委員長会		
イベント等開催関係	開催日時	年8回以上		
	開催場所	区役所会議室など		
	区役所の主催等	事務局		
	その他主催団体・組織等	－		
	共催団体・組織等	－		
	後援団体・組織等	－		
	目標事業規模	－		
	その他留意事項	－		
	イベント等 当日タイムテーブル	【事前準備】・依頼・報告事項エントリーシート及び関係書類の提出：開催10日前 ・区長とのレク：開催8日前 ・代表幹事とのレク：開催7日前 【会議内容】・代表幹事あいさつ、区長あいさつ、審議・協議・報告事項及び質疑応答・意見交換、まちづくりセンターからのお知らせ、その他		
	挨拶者			
来賓紹介	－			
祝電紹介の方法	－			
動員の方法	－			
その他他課との連携等		準行政的機能や総意形成機能を担うとともに、大正区将来ビジョン2022に掲げる「地域包括支援体制」において中心的な役割を担うことが期待されている地域まちづくり実行委員会の委員長をメンバーとする会議であり、区政に密接に関わりがあることから、全庁的に連携し、意見交換・情報共有等を行っていく必要がある。		
前年度実績		・大正区地域まちづくり実行委員会委員長会の開催：8回(R3) ・地域まちづくり実行委員会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：91.2%(R3)		
業績目標	実績	大正区地域まちづくり実行委員会委員長会の開催 年8回以上	大正区地域まちづくり実行委員会 委員長会の開催 年8回	自己評価 ○
成果目標	実績	地域まちづくり実行委員会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：前年度(91.2%)以上	地域まちづくり実行委員会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：95.0%	○
中期展望		・各地域における課題解決やまちづくりの推進に向け、各地域まちづくり実行委員会の長による定期的な協議・議論や情報交換・共有などを通じて、小学校区単位にとどまらず中学校区のコミュニティ強化や連携などにかかる各地域の取組が活性化している状態。		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		地域自治の中心的役割を担う各地域まちづくり実行委員会が、自律的に地域運営に取り組んでいる状態となることで、中期展望に寄与することが期待できる。		
SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを		
	－			
	－			
修正履歴				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-4	区民協働による魅力活性化事業	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区の特徴を活かした文化事業や多様な世代が参画できる事業を、大正区わがまちビジョン運営委員会と区役所が相互に協力・連携し、地域・学校等も巻き込んだ事業形態として実施することで、行政だけでは実現できない相乗効果を生むことにより大正区への愛着を高めるとともに、地域コミュニティの充実につながる住民主体のまちづくり活動の推進に寄与することを目的とする。
	内容	○わがまちビジョン運営委員会と連携し次の事業を行う。 樹木札設置:区内の子ども達が自然に親しむ機会として、また生命ある樹木等の名称や特徴を覚えてもらうため「樹木札設置」を、八幡屋公園事務所(建設局)、小学校、こども会、わがまちビジョン運営委員会と協働して実施する。 ・10年後の手紙:大正区内の小学校4年生全員に、「10年後の私へ」というテーマで手紙を書いてもらい、10年後の成人式にて返却する。 ・文楽公演:大阪が誇る伝統芸能である「文楽」に触れる機会を提供し、文化の普及・振興を図るとともに身近に「文楽」に触れる場のある地域への愛着を高める。 ○わがまちビジョン運営委員会が企画する事業について、連携・協力を行う。
	予算額(予算科目)	685千円(印刷製本費、通信運搬料、委託料)
	事業実施期間(回数)	10年後の私への手紙:年1回(成人の日のつどいの日に開催)文楽体験と公演年1回
	事業対象者(人数)	区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	随意契約(比較見積)
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決算、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月	【1月】10年後の私への手紙事業実施 【1月】文楽体験と公演事業実施 【2月】10年後の私への手紙:小学校より手紙回収、整理・保管 【2月】第4回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催	—	○
	4月 6月	【5月】第1回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催 【6月】文楽体験と公演:小・中学校へ児童・生徒の参加協力依頼	○	○
7月 9月	【7月】第2回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催 【9月】文楽体験と公演:委託契約締結		○	○
	10月 12月	【10月】文楽体験と公演:チラシ・ポスター作成、印刷 【10月】樹木札設置:八幡屋公園事務所(樹木札設置指導・監督)に協力依頼、小学校に周知チラシの配布依頼、こども会に参加児童の集約依頼 【11月】樹木札設置実施 【12月】文楽体験と公演:一般参加者募集 【12月】10年後の私への手紙:成人式案内状にて周知 【12月】第3回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会 【12月】10年後の私への手紙:学校、区子連周知依頼	広報紙・HP掲載、フェイスブック、ツイッター	○
3月	【1月】10年後の私への手紙事業実施:新成人に手紙を返却(成人式当日) 【1月】文楽体験と公演事業実施。事業報告書提出。 【2月】10年後の私への手紙:小学校より手紙回収、整理・保管 【3月】第4回大正区わがまちビジョン運営委員会・区役所連絡会開催	フェイスブック、ツイッター	○	○
	備考	小・中学校へ児童・生徒の参加協力依頼について検討段階で、文楽公演の時期を夏休みにすれば小・中学生も参加しやすくなりより効果的ではないかとの意見があり、これを受けて記載していたが、実施段階で協議した結果、従来通り1月の開催となったため削除		

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容			
講座・イベント・会議名		①樹木札設置 ④②10年後の私への手紙 ②③文楽体験と公演			
イベント等 開催関係	開催日時	①令和4年11月5日 ④②令和5年1月8日(成人式当日) ②③令和5年1月頃29日			
	開催場所	①千島公園 ②③区民ホール			
	区役所の主催等	共催			
	その他主催団体・組織等	—			
	共催団体・組織等	①②③大正区わがまちビジョン運営委員会			
	後援団体・組織等	④②「成人の日のつどい」運営委員会、大正区子ども会育成連合協議会			
	目標事業規模	—			
	その他留意事項	—			
	イベント等 当日タイムテーブル	①9:00 会場設営 ④② 10:30 会場設営 ②③ 9:00 会場設営 9:30 受付開始 11:00 受付開始 13:30 受付開始 10:00 樹木札設置 13:00 受付終了 14:00 上演開始 11:30 終了 後片付け 15:30 上演終了			
	挨拶者	大正区わがまちビジョン運営委員会委員長、区長			
	来賓紹介	—			
	祝電紹介の方法	—			
	動員の方法	区広報紙・ホームページ、チラシ、ポスター等			
その他他課との連携等		—			
前年度実績		樹木札設置:参加児童数16名(R1)※R2、R3は中止 10年後の私への手紙:手紙を取りにきた新成人の人数429名 文楽公演:新型コロナウイルス感染症対策を講じ令和4年1月29日実施 「文楽体験と公演の参加者アンケートにおいて、「文楽体験と講演」を通じて、より大正区や地域に愛着を感じられると答えた割合:94.9%			
業績目標	実績	樹木札設置:参加児童数を前回(16名)より増や す。 10年後の私への手紙:区HPや成人式案内状を活用し、前年度より手紙を受け取りに来る新成人(416名)を増やす。 文楽体験と公演:新型コロナウイルス感染症対策を講じた企画を行う。	樹木札:参加児童29名 10年後私への手紙:10年後の私への手紙受け取り数411名 文楽体験と公演:新型コロナウイルス感染症対策を講じた企画を実施。	自己評価	△
成果目標	実績	事業参加者アンケート区民意識調査において、本事業が大正区や地域への愛着の向上につながると答えた割合:95.2.1(R2)%以上(「子どもたちによる公園への樹木札設置」、「小学4年生を対象とした10年後の私への手紙」、「文楽公演と体験」の平均)	区民意識調査において、本事業が大正区や地域への愛着の向上につながると答えた割合「子どもたちによる公園への樹木札設置」、「小学4年生を対象とした10年後の私への手紙」、「文楽公演と体験」の平均)59.8%		◎
中期展望		「大正区将来ビジョン2022」の5つの柱のひとつ「区民が主役」のまちへの実現が進められている状態。			
成果目標が中期展望に寄与する理由		新たなまちの魅力発掘や大正区への愛着の向上により、これまで地域活動に参画していなかった区民が参画することにつながることが期待され、「区民が主役」のまちづくり活動の推進が図られるため。			

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう
	—	
	—	

修正履歴	事業見直し、スケジュールの修正 業績目標・成果目標の修正
------	---------------------------------

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-5	区役所コンサート	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	プロの演奏家による上質な音楽を鑑賞する機会を区民に提供することにより、音楽が区民にとって身近なものとなり、区民自身が音楽に携わるきっかけとなることで、まちに音楽があふれ、大正区の魅力のひとつとなることを目的とする。
	内容	大正区への親しみや区民としての誇りの醸成につながるプロの演奏家による無料のコンサートを開催する。 新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、演奏家と来場者及び来場者同士の距離を確保する等、密集・密接を回避し、また、手指消毒や来場者情報の把握する等、感染予防について対策を講じたうえで開催する。
	予算額(予算科目)	41千円(役務費)、165千円(委託料)
	事業実施期間(回数)	3回(10月、12月、2月)
	事業対象者(人数)	来庁者
委託関係	契約・入札方法	随意契約(比較見積)
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	プロの演奏家によるコンサートを企画・実施する。 企画内容は、毎回異なる声楽や器楽演奏などの室内楽を基本とし、本業務目的を達成しうるプロの演奏家を派遣できるものに業務委託する。
	選考委員等選考方式	随意契約(比較見積)

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月			○	○
	6月 5月	6月:委託業務契約事務		○	○
	9月 5月		広報紙、HP・SNS	○	○
	10月 2月 5月	10月:第1回区役所コンサート 12月:第2回区役所コンサート	毎月 広報紙、区HP・SNS	○	○
	3月 5月	2月:第3回区役所コンサート	毎月 広報紙、区HP・SNS	○	○
備考					

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		区役所コンサート(3回)		
イベント等開催関係	開催日時	10月、12月、2月		
	開催場所	区役所2階さわやか広場等		
	区役所の主催等	大正区役所主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法		区広報紙、ホームページ、ポスター、チラシ等		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		参加者：R3.12.20 42名、R4.1.26 58名、R4.3.1 58名 事業が区民の文化意識の高揚や大正区におけるシビックプライドの醸成につながると答えた割合：47.5%(令和2年度)※令和3年度調査未実施		
業績目標	実績	収容可能人数の90%以上	参加者：令和4年度 R4.10 70名 R4.12 86名 R5.3 115名 収容可能人数の100%	自己評価 ◎
成果目標	実績	区民意識調査で事業が大正区への親しみや区民としての誇りの醸成につながると答えた割合：50%以上	60.5%	◎
中期展望		大正区において音楽が身近な存在となり、まちにあるれている状態をめざす。		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		大正区への親しみや区民としての誇りの醸成に繋がると評価されることは、音楽が区民にとって有益であり、また、区民の関心を惹きつける存在となり、区民が音楽に携わる可能性を高めることとなるため。		

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	成果目標の修正
------	---------

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-6	生涯学習の実施支援	令和4年4月1日 保健福祉課(こども・教育)		

項目	内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む) 第4次生涯学習大阪計画(R4～R7予定)を踏まえ、生涯学習推進員が地域活動協議会の一員として、各種団体との連携を図りながら、多様なニーズに応じた講座等の開催を通じて学習機会の提供を行うことにより、誰もが主体的に学び続けることができるよう、情報共有の場や、発表の場の提供などの支援を行う。 内容 生涯学習に関する取り組みの共有や、各校下間の生涯学習推進員の連携強化を図るため「生涯学習推進員・区役所連絡会」を開催する。 各生涯学習関連施設が行う取り組みを情報共有し、啓発協力を行うとともに、区内施設館の連携強化を図るため「生涯学習関連施設連絡会議」を開催する。 生涯学習関連事業の実施告知・報告を区HPやSNS等へも掲載し、学びのきっかけづくりとなるよう区民へ広く周知を図るとともに区内の生涯学習施設や教育機関等と連携し、学習機会の提供並びに情報の取りまとめを行う。 また、各地域の生涯学習ルーム・各種サークル・団体等が取り組んでいる活動の成果を発表する場として、こどもから大人まで世代を問わず多くの区民が気軽に参加できる内容となるよう「大正生涯学習フェスティバル」を実施する。 予算額(予算科目) 761千円(報償金、通信運搬費、委託料) 事業実施期間(回数) 令和4年4月1日～令和5年3月31日／フェスティバル:年1回(11月上旬の土・日曜日) 事業対象者(人数) 主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法 公募型プロポーザル方式(大正生涯学習フェスティバル) 募集要項のポイント 単にイベントとして実施するのではなく、参加者一人ひとりが積極的に生涯学習に取り組むきっかけとなるしかけが必要であるため、興味を喚起する画期的で魅力的な企画や、こどもから大人まで幅広い世代の区民がより多く参加するよう、地域を巻き込んだ情報発信力等の提案を求める。 仕様書のポイント 新たな「学び」へのきっかけとなり、参加者一人ひとりが学習活動への意欲を一層高め、「学び」の成果を地域に還元できるような内容とする。 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた新しい様式での実施とする。 選考委員等選考方式 専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	・生涯学習ルーム関係書類提出依頼		○
6月	4月	【4～6月】大正区生涯学習推進員区役所連絡会(月1回) 【5月】生涯学習関連施設連絡会議(奇数月) 大正生涯学習フェスティバル 【4月】実施決裁 【5月】入札募集、実施説明会の開催 【6月】委託事業者の選考	生涯学習関連事業の実施告知・報告について、情報発信(区ホームページ・フェイスブック・ツイッター)	○
9月	7月	【7月】大正区生涯学習推進員区役所連絡会(月1回) 【7月】生涯学習関連施設連絡会議(奇数月) 【9月】大正区生涯学習推進員区役所連絡会(月1回) 【9月】生涯学習関連施設連絡会議(奇数月) 【7月】大正生涯学習フェスティバルにかかる委託契約の締結		○
12月	10月	【10月】大正区生涯学習推進員区役所連絡会(月1回) 【11月】大正区生涯学習推進員区役所連絡会(月1回) 【11月】生涯学習関連施設連絡会議(奇数月) 【11月】生涯学習フェスティバル実施		○
3月	1月	【1～3月】大正区生涯学習推進員区役所連絡会(月1回) ・生涯学習ルーム関係書類提出依頼 【1・3月】生涯学習関連施設連絡会議(奇数月)		○
備考	連絡会は8月、12月休会			

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大正区生涯学習推進員区役所連絡会／大正生涯学習フェスティバル		
イベント等開催関係	開催日時	毎月第3木曜日(8月12月休会)／令和4年度11月上旬の <u>土</u> ・日曜日		
	開催場所	大正会館会議室(予定)／大正区コミュニティセンター		
	区役所の主催等	事務局／主催		
	その他主催団体・組織等	大阪市生涯学習推進員大正区連絡会		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	来場者700人以上		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	1日目 10:00 オープニングセレモニー開会 区長あいさつ ワークショップ、展示 15:00 終了 2日目 10:00 舞台発表、展示 16:00 終了 変更内容: 例年2日間開催だったが、令和4年度より1日のみの開催とした。 変更理由: 生涯学習推進員の意向が1日間開催であったため。		
	挨拶者	区長		
	来賓紹介	府議会議員、市議会議員		
	祝電紹介の方法	掲示		
	動員の方法	各団体に周知、各町会でポスター掲示等		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・生涯学習ルーム 66講座(令和3年度) ・こんにちは大正による生涯学習に係る記事掲載: 1回(令和3年度) ・区民意識調査において「生涯学習の機会の広がりを感じる」と答えた割合: 43.9%(令和3年度)		
業績目標	実績	・こんにちは大正による大正生涯学習フェスティバル等生涯学習に関する記事記載: 1回以上 ・区HPの活用によるPRの強化と参加者アンケートにより把握したニーズを事業に反映させることなどにより、前年度(令和元年度: 820名)より参加者を増やす。	・こんにちは大正による大正生涯学習フェスティバル等生涯学習に関する記事記載: 2回 ・令和4年度の生涯学習フェスティバル参加者数は、614名であった。	自己評価 △
成果目標	実績	・区民意識調査において「生涯学習の機会の広がりを感じる」と答えた割合: 55.4%以上	・区民意識調査において「生涯学習の機会の広がりを感じる」と答えた割合: 34.2%以上	×
中期展望		身近に開催される講座等の内容を知ることが出来、参加を通じ、地域住民が自律的に生涯学習を進められ、区民全体が生涯学習に興味を持ち、継続して学習することで、自らを高めている状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		生涯学習の機会が広がることにより、区内の生涯学習の取組みに対する理解が深められ、より自律的な生涯学習活動が図られる。		

SDGsゴール	4	質の高い教育をみんなに
	10	人や国の不平等をなくそう

修正履歴	事業内容の修正
------	---------

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-7	はぐくみネットの連携強化支援	令和4年4月1日 保健福祉課(こども・教育)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	はぐくみネット運営委員会が地域活動協議会の一員として、「家庭」「学校」「地域」が一体となり、様々な経験や学びを通じて、学校教育支援活動が行えるよう、区役所が、運営支援を行うことにより、地域社会で様々な人が継続的に子どもに関わるしくみをつくり、人と人とのつながりによって子どもの人間性を豊かにし「生きる力」をはぐくんでいくことをめざす。
	内容	子どもの成長に役立つ活動を通じて人と人をつなげることをめざし、構成する諸団体やはぐくみネットの取組の要である地域ボランティア「はぐくみネットコーディネーター」が中心を担うはぐくみネット運営委員会により、休日や放課後などに子どもの体験教室や、大人と子どもが交流する催し、地域の子育て・教育について考える活動など自主的、主体的に取り組まれるよう、区役所が、事務手続き、活動状況の把握、運営に関する相談・助言等はぐくみネット事業の推進にかかる業務を行うことにより、運営支援を行う。
	予算額(予算科目)	(【参考】地域活動協議会補助金26,836千円(全体))
	事業実施期間(回数)	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	事業対象者(人数)	区内全般(はぐくみネットコーディネーターと連携)
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月 ・行政財産使用承認依頼 ・次年度の計画案の提出		○	○
6月	・前年度の事業報告 ・各校下ではぐくみネットの取組みを実施 ・適宜情報共有や意見交換		○	○
7月	・各校下ではぐくみネットの取組みを実施 ・適宜情報共有や意見交換		○	○
10月	・各校下ではぐくみネットの取組みを実施 ・適宜情報共有や意見交換		○	○
3月	・各校下ではぐくみネットの取組みを実施 ・適宜情報共有や意見交換 ・令和5年度からはぐくみネットの在り方について情報共有 ・行政財産使用承認依頼		○	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		はぐくみネットコーディネーター連絡会		
イベント等開催関係	開催日時	未定		
	開催場所	区役所会議室		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	【仮】 各コーディネーターの活動について 地域の取り組み状況について		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・各校区はぐくみネット事務局会議を開催した(各校下1回以上計13回)(令和3年度) ・各はぐくみネット関係者の「連絡会議」「公開研修」「研究発表会」等へコーディネーターが参加した(令和3年度) ・各地域において、はぐくみネットコーディネーターが地域と学校をつなぐ取り組みに従事した校下:10校下(令和3年度)		
業績目標	実績	各校区はぐくみネット事務局会議の開催(年1回以上) 各はぐくみネット関係者の「連絡会議」「公開研修」「研究発表会」等へはぐくみネットコーディネーターが参加(年1回以上)	7校区ではぐくみネット事務局会議の開催(年1回以上) 各はぐくみネット関係者の「連絡会議」「公開研修」「研究発表会」等へはぐくみネットコーディネーターが参加(年1回以上)	自己評価 △
成果目標	実績	各地域において、はぐくみネットコーディネーターが地域と学校をつなぐ取り組みに従事した校下:10校下	各地域において、はぐくみネットコーディネーターが地域と学校をつなぐ取り組みに従事した校下:10校下	○
中期展望		休日や放課後などに子どもの体験教室や、大人と子どもが交流する催しが開催され、地域で子育て・教育について考えられている状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		コーディネーターが地域と学校をつなぐ取り組みに従事することにより、地域に開かれた学校づくりが進められることから、地域全体の子育て、教育についての関心を高めることにつながる。		

SDGsゴール	4	質の高い教育をみんなに
	10	人や国の不平等をなくそう

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-8	学校体育施設の地域への開放	令和4年4月1日 保健福祉課(こども・教育)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大阪市立の学校が保有する体育施設を地域に開放し、地域住民に対して継続的にスポーツの場を提供するとともに、自主的主体的に運営や活動の推進を図ることによって、住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興等に寄与するよう支援する。
	内容	学校ごとに設置する学校体育施設開放事業運営委員会の自主的、主体的な運営により、地域住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興等が図られるよう、事務手続き、活動状況の把握、運営に関する相談・助言等の運営支援を行う。
	予算額(予算科目)	(経済戦略局CM予算)774千円(光熱水費) 【参考】地域活動協議会補助金27,032千円(全体)
	事業実施期間(回数)	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	事業対象者(人数)	原則として、当該校区内の児童、生徒及び住民
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 3月	・事業実施報告の提出依頼 ・事業の履行確認	○	○
6月	4月 5月	事業実績報告等の集約 事業の履行確認	○	○
9月	7月 8月	事業の履行確認	○	○
12月	10月 11月	事業の履行確認	○	○
3月	1月 2月	・事業実施報告の提出依頼 ・事業の履行確認	○	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・各学校体育施設開放事業運営委員会へ運営に関する相談・助言を行った回数：各運営委員会1回以上（令和3年度） ・年間総開放回数2,687回（令和3年度） ・延べ利用者数45,486人（令和3年度） ・学校体育施設開放事業に新たに参画した新規利用団体数：0団体（令和3年度） ・各学校体育施設開放事業運営委員会へ運営に関する相談・助言を行った回数：各運営委員会1回以上（令和3年度）		
業績目標	実績	各学校体育施設開放事業運営委員会へ運営に関する相談・助言を行った回数：各運営委員会1回以上	各学校体育施設開放事業運営委員会へ運営に関する相談・助言を行った回数：各運営委員会1回以上	自己評価 ○
成果目標	実績	学校体育施設開放事業に新たに参画した新規利用団体数を前年度（令和3年度：0団体）より向上させる。	学校体育施設開放事業に新たに参画した新規利用団体数：0団体	×
中期展望		学校体育施設開放事業により、地域住民による自主的、主体的な運営や活動の推進が図られ、住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興等に寄与している状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		より多くの団体・区民が学校体育施設開放事業へ参加し、地域住民による自主的・主体的な取組みが促進されることで、健康・体力の維持増進につながり、生涯スポーツの振興等が図られる。		

SDGsゴール	4	質の高い教育をみんなに
	10	人や国の不平等をなくそう

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-9	スポーツ推進委員活動の支援	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	本市では従来より市民一人ひとりが日常的に、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるように、その普及・振興を推進しているところである。 教育長より委嘱を受けたスポーツ推進委員が、特に活動の拠点を地域において、住民との連帯の中でスポーツ・レクリエーション事業の企画・立案を行い、委員相互の協力体制のもと活発に事業の発展をはかることにより、本市における生涯スポーツの振興のより一層の充実を図る。
	内容	・改選事務(2年毎): 令和4・5年度委嘱候補者の推薦依頼(区→まちづくり実行委員会等)、候補者の推薦(区→経済戦略局)新たな担い手確保に向けて、広報等による支援 ・支出事務報酬の支払い(年2回:9月・3月) (参考)スポーツ推進委員の主な任務 ・地域(町会・小中学校区等)におけるスポーツ・レクリエーション事業の企画・実施 ・市・区におけるスポーツ・レクリエーション事業への参画並びに協力
	予算額(予算科目)	335千円(令和3年度)
	事業実施期間(回数)	委嘱期間:2年(令和4年4月～令和6年3月)
	事業対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤者
委託関係	契約・入札方法	地域団体からの推薦
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業	
(前年度)	1月 ～ 3月	【3月】報酬の支払い(下半期分)	委員募集と紹介記事の掲載	○	○
6月	4月 ～ 6月	【4月】委嘱状伝達式 【4～6月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)	活動についての情報発信 (区ホームページ・ツイッター・フェイスブック) 随時	○	○
9月	7月 ～ 9月	【8月】候補者の追加推薦(区→経済戦略局) 【9月】報酬の支払い(上半期分) 【7～9月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
10月	10月 ～ 12月	【10～12月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
3月	1月 ～ 3月	【1月】候補者の追加推薦(区→経済戦略局) 【3月】報酬の支払い(下半期分) 【1～3月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○	○
備考					

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大阪市スポーツ推進委員委嘱状伝達式		
イベント等開催関係	開催日時	令和4年4月中旬予定 19:00～		
	開催場所	大正会館 第4・5会議室		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	委嘱者27名		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	19:00 開会 19:05 委嘱状伝達 19:20 区長あいさつ 19:25 スポーツ推進委員代表あいさつ 19:30 閉会		
	挨拶者	区長、スポーツ推進委員代表		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		地域数:10地域、 区民意識調査におけるスポーツ推進委員の活動が大正区における生涯スポーツの振興に役立っていると答えた割合: 40.8%(令和3年度)		
業績目標	実績	スポーツ推進委員によりスポーツ・レクリエーションの普及・振興に関する活動が実施されている地域数:10地域	スポーツ推進委員によりスポーツ・レクリエーションの普及・振興に関する活動が実施されている地域数:10地域	自己評価 ○
成果目標	実績	・区民意識調査でスポーツ推進委員の活動が各校下における生涯スポーツの振興に役立っていると答えた割合:40.8%以上	区民意識調査でスポーツ推進委員の活動が各校下における生涯スポーツの振興に役立っていると答えた割合:56.6%	◎
中期展望		スポーツ推進委員が、活動の拠点を各校下において、住民との連帯の中でスポーツ・レクリエーション事業の企画・立案を行い、委員相互の協力体制のもと活発に事業が開催され、地域コミュニティが活性されている状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		スポーツ推進委員が実施するスポーツ・レクリエーション事業が各校下における生涯スポーツの振興に役立つことによって、参加者の増加が見込まれ、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化が図られるため		

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-10	大正区成人式の実施	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	新成人としての自覚や地域に見守り、育てられ健全に成長を遂げたことへの感謝を促すとともに、青少年健全育成に関する各種団体と協力し、新成人を祝い励ますことにより、区内における諸活動の担い手へと繋がるよう、新成人と各種団体間のコミュニティづくりを行う。
	内容	大正区成人式を青少年指導員・青少年福祉委員・子ども会など地域団体によって組織された大正区成人式運営委員会と連携して開催する。
	予算額(予算科目)	182千円
	事業実施期間(回数)	年1回(10月～1月):「大正区成人式」の実施(準備含む)
	事業対象者(人数)	区民(在住・在勤・在学)および青少年健全育成に関心のある方、新成人
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月	【1月】運営委員会、事前準備(新成人代表による前日リハーサルの実施)・事業実施 【12月・1月】開催日時の周知	区広報紙、HPで開催日時について広報	○
	6月		○	○
	7月 9月		○	○
	10月 12月	【10月】・実施起案、運営委員会開催、各種団体・企業等への協賛の依頼 ・対象者(新成人)に案内状発送(新成人代表の選考) 【12月】・10年後の私への手紙事業について連携	区広報紙、HPで事業の実施について広報	○
	3月 1月	【1月】運営委員会開催、事前準備(新成人代表による前日リハーサルの実施)・事業実施		○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大正区成人式		
イベント等開催関係	開催日時	令和5年1月8日(日)※時間詳細は「イベント等タイムテーブル」欄参照		
	開催場所	大正区民ホール		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	「大正区成人式」運営委員会		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	大正区政協力会、大阪大正ライオンズクラブ ほか		
	目標事業規模	各種団体の協力を得て参加者 400人		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	【区事業】 9:30 みおつくしの鐘打鐘 10:00 受付開始(「10年後の私への手紙」の返却) 10:30 第1部開始(式典)/区長あいさつ/関係団体祝辞等/新成人誓いの言葉 【運営委員会事業】 11:00 第2部開始(アトラクション) 12:30 終了		
	挨拶者	区長、大正区成人式運営委員長(新成人代表) ほか		
	来賓紹介	各会長、ライオンズクラブ会長、議員		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	区広報紙・ホームページ、ポスター、チラシ等		
その他他課との連携等		わがまちビジョン運営委員会(「10年後の私への手紙」の返却)		
前年度実績		・区広報紙や区HPを活用し、新成人の参加率:69.9%(令和3年度) ・区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合:62.3%(令和3年度)		
業績目標	実績	区広報紙や区HPを活用し、新成人の参加率80%以上	区広報紙や区HPを活用し、新成人の参加率71.8%	自己評価 ×
成果目標	実績	区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合が70%以上	区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合が71.2%	○
中期展望		各種関係団体相互の連携の充実を図りながら、将来を担う子どもたちが地域で健全に育つ環境を実現する。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		本事業が大正区内の青少年健全育成の推進につながることで、各種団体の活動への関心を高め、青少年と関わる人材の拡大が図られることから、地域において青少年を見守る環境が整い、青少年の健全な育成につながる。		

SDGsゴール	4	質の高い教育をみんなに

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-11	青少年指導員・青少年福祉委員活動の支援	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	青少年指導員・青少年福祉委員活動を推進することにより、住民との連携の下で地域における青少年の健全育成を図ることを目的とする。
	内容	要綱に基づき市長から委嘱を受けた「青少年指導員」・「青少年福祉委員」及び「ユースリーダー」と良好な関係を構築するとともに、青少年の健全育成に関する活動を支援する。 また、定例会へ適宜出席するなど、青少年指導員・福祉委員活動の把握と新たな担い手確保に向けて広報等による連携を強化する。
	予算額(予算科目)	1,657千円
	事業実施期間(回数)	令和4年4月～令和5年3月
	事業対象者(人数)	区民(在住・在勤・在学)および青少年健全育成に関心のある方
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 3月	【1～3月】活動実績確認 関係要綱等における区のルールについて、内容の見直しを検討 【3月】年間活動実績の確認 次年度事業実施起案		○
	4月 6月	【毎月】市内統一指導ルーム、活動実績確認 【4月】前年度の実績報告書の審査及び精算報告書の作成・交付額確定通知等 【4月】委嘱状伝達式 【4月】交付金交付 【4～6月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○
	7月 9月	【毎月】活動実績確認 【7～9月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)	活動についての情報発信 (区ホームページ・ツイッター・フェイスブック) 随時	○
	10月 12月	【毎月】活動実績確認 【10月】中間決算の確認 【10～12月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○
	1月 3月	【1～3月】活動実績確認 【3月】年間活動実績の確認 次年度事業実施起案 【1～3月】区定例会への出席(区との連絡・確認事項があれば)		○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大正区青少年指導員・青少年福祉委員委嘱状交付式		
イベント等 開催関係	開催日時	令和4年4月中旬		
	開催場所	大正会館3階ホール		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	地域選考会(10校下)		
	目標事業規模	260人(青少年指導員124人、青少年福祉委員124人、地域選考会)		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	19:00 開会 19:05 区長あいさつ 19:10 委嘱状交付(区長→地域代表者) ① 青少年指導員 ② 青少年福祉委員 19:55 地域選考会委員長紹介 20:00 閉会		
	挨拶者	区長		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・区内小学校下(10校下)すべてで、青少年指導員、青少年福祉委員の活動が行われている。 ・区役所ホームページに紹介記事を掲載(1回) ・区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合が57.8%(令和3年度)		
業績目標	実績	活動を区役所のホームページ、SNS(ツイッター、フェイスブック)に掲載する。	区役所のホームページ、SNS(ツイッター、フェイスブック)に1回の掲載	自己評価 ○
成果目標	実績	区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合70.0%以上	区民意識調査において、本事業が「青少年が健全に育つ環境づくりに効果がある」と回答した割合64.4%	△
中期展望		各種関係団体相互の連携の充実を図りながら、将来を担う子どもたちが地域で健全に育つ環境を実現する。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		青少年指導員、青少年福祉委員の活動が大正区内の青少年健全育成の推進につながることであり、青少年健全育成に携わってもらえる人材の拡大が図られることから、地域において青少年を見守る環境が整い、青少年の健全な育成につながる。		

SDGsゴール	4	質の高い教育をみんなに

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-1-12	区役所附設会館の管理運営	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
	内容	・施設利用申込の手続き、利用方法諸手続きの説明、予約・申込受付、使用料の徴収、使用許可書の交付、諸設備、機器、設備等の管理、貸出、点検立会い、補修指示等 ・指定管理者の管理業務の状況について、事業報告書や自己点検に係る書類等について点検・確認と実地調査
	予算額(予算科目)	34,167千円
	事業実施期間(回数)	通年(4月～3月)
	事業対象者(人数)	主に区内在住・在学・在勤の方
委託関係	契約・入札方法	
	募集要項のポイント	
	仕様書のポイント	
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	【3月】指定管理者の自己点検結果報告に基づく実地調査		○
6月	4月	【通年】大正会館指定管理者との施設管理運営業務の調整。補修等を含む施設の良好な維持管理。指定管理者による貸館業務、自己点検・結果報告、事業報告書提出、調整会議開催。施設利用申込みの受付及び許可書の交付(使用料の徴収含む)。		○
9月	7月	【7月】指定管理者の自己点検結果報告に基づく実地調査の実施 【8月】指定管理者の評価結果公表		○
12月	10月			○
3月	1月	【3月】指定管理者の自己点検結果報告に基づく実地調査の実施		○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		<大正会館>利用率38.2%(R3)<大正区民ホール>利用率50.8%(R3) 区役所附設会館が市民利用施設として供用されていることで、地域におけるコミュニティ活動の振興、文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進につながると答えた割合： <大正会館>58.1%<区民ホール>75.1%<噴水広場>59.7%(令和3年度)		
業績目標	実績	・区HPや区広報紙を活用し、優先使用や減免制度を周知することで、利用率を前年度より増やす。	大正会館(利用率R3・38.2% R4・43.9%) 大正区民ホール(利用率R3・50.8% R4・47.2%)	自己評価 △
成果目標	実績	区民意識調査で区役所附設会館が市民利用施設として供用されていることで、地域におけるコミュニティ活動の振興、文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進につながると答えた割合： △ 60%以上	・区役所附設会館が市民利用施設として供用されていることで、地域におけるコミュニティ活動の振興、文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進につながると答えた割合 (大正区民ホール):75.3% (大正会館):54.2% (噴水広場):68.2%	△
中期展望		附設会館の利用により大正区における地域コミュニティが充実している		
成果目標が中期展望に寄与する理由		附設会館の利用が活発化することで、コミュニティ活動の振興、地域における文化の向上及び福祉の増進、市民相互の交流の促進、連帯感あふれるまちづくりの推進が図られることから、地域コミュニティの充実につながるため。		

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを

修正履歴	成果目標の修正
------	---------

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
4-1-3 5-1-13	エリア価値の向上に向けた地域活性化事業	令和4年4月1日 地域協働課(地域協働)		○

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	大正区においては、自然動態(出生・死亡に伴う人口の動き)及び社会動態(転入・転出等に伴う人口の動き)ともに下降傾向となっており、人口は年々減少している。 また、この人口減少により、地域活動の担い手不足や空き家の増加等が顕著となっている状況である。 この状況を鑑み、これから大正区が人々の注目を集め、大正区・地域に関わりたくなるまちとなるよう、地域活性化事業によるエリア価値の向上をめざす。
	内容	エリア価値向上について、代表的な取組パターンとしては次の①から④の取組がある。 ①公共空間の利活用 道路、公園、河川空間など、誰でも利用することができる都市空間を居心地よく魅力あるものとして活用。 ②遊休不動産の再生 空き家、空き店舗などの遊休不動産を活用し、地域のニーズに応じた様々な施設へとリノベーション。 ③コンテンツや事業の創出 地域独自の資源を活かしたまちづくりのための人材の育成等の取組。 ④エリア環境の改善 移動しやすい交通の確保、魅力を高める景観の整備などエリア環境の改善に向けた取組。 ①～④を実現するために、令和4年に実施する大正区政90周年のイベント(令和4年10月)を目途に社会実験として、景観等の整備を完了した千島公園(④の取組)及び周辺一帯を活用し、開催日を多くの人の記憶に残せるように、毎月決まった日に区役所が占用主体となって公園の通路やステージ等を活用した賑わいの創出を実施する(①の取組)。具体の取り組みとして、千島公園イベント広場「くさっぱひろっぱ」に完成したステージを有効活用したライブや漫才などのイベント、昭和山はなのみちでは飲食・休憩スペース等を設置、特色ある商品や飲食物のテイクアウト販売を行う。合わせて、不動産所有者や事業者と連携した空家相談や店舗探し、家探しができる取り組みを実施し、出店者や来場者へ大正区への出店、移住を促すための一助となる有効な情報を提供することにより区内外からの関心を集める(②の取組)。この賑わいの創出にあたっては、興味を持ち、自ら希望する区内の飲食店・物販店、ものづくり企業やRETOWN、WALPA、URなどが一定出店できるよう配慮し、これまでである大正区独自の、あるいは新たに生み出す魅力を来場者へ印象づける(③の取組)。 なお、本事業実施に際しては、企画・立案・実施する事業者を公募型プロポーザルにより募集する。 社会実験の期間は令和4年10月～令和5年11月までとする。
	予算額(予算科目)	53千円(報奨金)、3千円(役務費)、5,379千円(委託料)
	事業実施期間(回数)	令和4年10月から令和5年3月まで(毎月1回:全6回)
	事業対象者(人数)	約5000人
委託関係	契約・入札方法	公募型プロポーザル方式
	募集要項のポイント	・大正区独自の魅力を来場者へ印象づける企画の提案 ・空家相談、店舗探し、家探しができるブースの設置 ・集客が見込める飲食店(キッチンカー)・物販店の誘致 ・出店する店舗が利用するテントの購入 など
	仕様書のポイント	民間事業者の高いノウハウや経験、行政にはない新たな発想を持ち、エリア価値の向上につながる企画提案を求める。
	選考委員等選考方式	専門知識を持つ外部委員3名による選考会議にて選定

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5日 3月	事業者へヒアリング、募集要綱、仕様書作成。 公園の使用について、建設局と調整。		○
	4月5日 6月5日	【4月】実施決裁、募集開始 【5月】委託事業者の選考 【6月】委託契約締結(委託事業者の選定に至らず再募集)	HPで募集案内を掲載	×
	7月5日 9月5日	【7月～9月】 委託事業者の再選考 委託契約締結 事業実施に向けた調整	広報紙、HP・SNS	○
	10月5日 12月5日	【10月】事業実施(1回目)以後毎月1回実施(全6回) 【10月～12月】 予定どおり、マルシェ及び空家まち歩きを、10月23日、11月27日、12月25日に開催。	毎月 広報紙、区HP・SNS	○
	1月5日 3月5日	【1月～3月】 予定どおり、マルシェ及び空家まち歩きを、1月22日、2月26日、3月26日に開催。	毎月 広報紙、区HP・SNS	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等 開催関係	開催日時	令和4年10月から令和5年3月まで(毎月1回:全6回)		
	開催場所	千島公園及び周辺一帯		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	区広報紙、ホームページ、ポスター、チラシ等			
その他他課との連携等		—		
前年度実績		新規事業		
業績目標	実績	事業実施(10月)以後毎月1回、計6回実施	予定通り毎月1回、計6回実施	自己評価 ○
成果目標	実績	・賑わい創出事業に参画した事業者のうち、事業継続を望むと答えた者:40%以上 ・賑わい創出事業に参加した来場者のうち、本事業がまちの魅力であり、まちの活性化にもつながっていると感じると答えた者の割合:40%以上	・賑わい創出事業に参画した事業者のうち、事業継続を望むと答えた者:100%(全出店者) ・賑わい創出事業に参加した来場者のうち、本事業がまちの魅力であり、まちの活性化にもつながっていると感じると答えた者の割合:96.9%	◎
中期展望		大正区の強みが区内外を問わず広く認知されエリア価値が向上している状態。		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		大正区が区民及び区民以外の人から住みたいまちとして認知されることは、暮らす場所として魅力的であるにとらえられていることを示しており、ひいてはエリア価値の向上を示すこととなるため。		

SDGsゴール	11	住み続けられるまちづくりを
	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	スケジュールの修正
------	-----------

【5】「区民が主役」のまちへ

5-2 区民ニーズの把握

◆ 目指すべき将来像

「より幅広い区民ニーズを把握し、それを的確に反映させた施策や事業が行われており、区民がそれを実感している状態。

◆ 施策

- ・ 区民意識調査の実施
- ・ 「市民の声」や区政会議での意見を区政に反映

◆ 施策目標

【区民意識調査】

- ・ 区役所が、様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合：平成28年度 34.1%⇒令和4年 50%以上
〔市政改革プランH29目標 35%→H29結果 39.2% 〕

◆ 具体的取組（事業・業務計画書）

取組番号	事業名
5-2-1	「市民の声」などの受付・回答
5-2-2	区民意識調査の実施
5-2-3	区民等の多様な意見の把握・反映（区政会議）

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-2-1	「市民の声」などの受付・回答	令和4年4月1日 総務課(庶務)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	市政・区政に対する意見・要望等を的確に把握することを目的とする。
	内容	当区役所に寄せられた「市民の声」や団体等からの要望書などに対して、直接市民・団体等に回答するなど、説明責任を果たす。 また、区役所に多く寄せられる意見や問合せなどをピックアップし、取組み状況などの情報を取りまとめたうえで、区役所内掲示板や区ホームページ・広報紙などで随時広報を行う。
	予算額(予算科目)	3千円(通信運搬費 広聴事業)
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	大阪市民
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 3月	区民や団体等から寄せられた意見・要望への対応(随時) 区役所内掲示板などへの広報の開始(1月～)	区広報紙、HPでの広報(随時)	○	○
	4月 5月	区民や団体等から寄せられた意見・要望への対応(随時)	区広報紙、HPでの広報(随時)	○	○
	7月 9月	区民や団体等から寄せられた意見・要望への対応(随時)	区広報紙、HPでの広報(随時)	○	○
	10月 12月	区民や団体等から寄せられた意見・要望への対応(随時)	区広報紙、HPでの広報(随時)	○	○
	3月 5月	区民や団体等から寄せられた意見・要望への対応(随時)	区広報紙、HPでの広報(随時)	○	○
備考					

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		全課		
前年度実績		【令和3年度実績】 受付件数:14件(うち大正区役所に関するもの8件) 【令和3年度実績】 「市民の声」の受付日から回答までの処理平均日数:12日 【令和3年度区民アンケート調査(市民局実施)】 区役所が相談や問い合わせ内容について適切に対応したと思う区民の割合:74.3%		
業績目標	実績	「市民の声」の迅速な回答 受付日から回答までの処理平均日数:12日以内	処理平均日数13.1日	自己評価 △
成果目標	実績	【令和4年度区民アンケート調査(市民局実施)】 区役所が相談や問い合わせ内容について適切に対応したと思う区民の割合:80%以上	令和4年度の区民アンケートにおいて「適切に対応した」と答えた区民の割合は78.5%となった。	△
中期展望		「市民の声」をはじめ、当区に寄せられた意見・要望などに対して迅速かつ適切に対応する		
成果目標が中期展望に寄与する理由		どのような事案についても説明責任を果たせるよう、職員一人ひとりが広聴担当である意識することで満足度が向上し、「市民の声」等に迅速かつ適切に対応できることに繋がるため。		

SDGsゴール	10	人や国の不平等をなくそう

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-2-2	区民意識調査の実施	令和4年4月1日 総務課(庶務)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	無作為抽出した区民に対する区民意識調査などを実施することで、より幅広い区民ニーズや意見・評価を的確に把握し、施策や事業に反映する。
	内容	無作為抽出した区民に対する区民意識調査を実施(区役所実施分2回、市民局実施分1回)。また、回答方法について、利便性の向上や若年層(主に18～29歳)の回答率向上、近年のオンライン化を考慮し、オンライン回答(行政オンラインシステムを活用)等の実施について検討する。 SNS(LINE・Twitter・Facebook)を活用した区民の意見やニーズの把握に努める。 PDCAサイクル徹底のため、各事業の効果測定を行うとともに、調査結果の分析・課題抽出により、今後の区政運営に活用する。
	予算額(予算科目)	998千円(委託料 広聴事業)＋市民局へ予算配付 598千円(通信運搬費、委託料)
	事業実施期間(回数)	令和4年4月～令和5年3月
	事業対象者(人数)	無作為抽出した区民(1,500人。市民局実施分は2,000人)
委託関係	契約・入札方法	事後審査型制限付一般競争入札
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	単純集計と当区が指示するクロス集計を行うこと。 単純集計及びクロス集計結果から読み取れる客観的な事実及び特徴的な事実や傾向(設問ごと及び属性ごとの回答傾向等)についての分析を行うこと。
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 3月	3月 実施決裁、研修準備		○
4月	4月 6月	4月——職員研修会の開催(主な内容:設問の工夫の仕方について) 4～5月 6月 各課にアンケート設問照会(主な内容:設問の工夫の仕方についても合わせて通知) 契約準備、アンケート設問の調整 6月 契約締結 SNS(ラインのアンケート機能)を活用した区民の意見やニーズの把握(随時)		○
7月	7月 9月	7月 区民意識調査の実施(1回目) 8月9月 区民意識調査結果報告書の納品 9月——職員研修会の開催(主な内容:アンケート結果の活用手法について) SNS(LINEのアンケート機能)を活用した区民の意見やニーズの把握(随時)		○
10月	10月	10月 区役所業務格付け調査の実施(市民局) SNS(LINEのアンケート機能)を活用した区民の意見やニーズの把握(随時)	10月 HPへ掲載(第1回目結果)	○
3月	1月 3月	1月——区役所業務格付け調査の実施(市民局) 2月 区民意識調査の実施(2回目) 3月 区民意識調査結果報告書の納品 SNS(LINEのアンケート機能)を活用した区民の意見やニーズの把握(随時)	3月 HPへ掲載(第2回目結果)	○
備考				

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	—			
その他他課との連携等		(各課)設問の作成、調査結果の分析及び活用、(総務課)区長、副区長、各課、委託業者との調整		
前年度実績		区民意識調査(区役所実施分2回、市民局実施分1回) 様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合 45.2%(令和3年度実績)		
業績目標	実績	無作為抽出した区民に対する区民意識調査(年2回実施) SNS(LINE・Twitter・Facebook)を活用した区民の意見やニーズの把握(年1回以上)	無作為抽出した区民に対する区民意識調査(年2回実施) SNS(LINE・Twitter・Facebook)を活用した区民の意見やニーズの把握は未実施	自己評価 ×
成果目標	実績	区役所が、様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合:50%以上	47.4%	△
中期展望		当該調査結果から区民ニーズを的確に把握し、施策へ反映させる。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		多くの区民の方に「区民ニーズを的確に把握している」と感じていただけることが、中期展望へ寄与する前提となるため、その成果目標を達成することは非常に重要である。		

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	・「スケジュール」欄の修正
------	---------------

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-2-3	区民等の多様な意見の把握・反映(区政会議)	令和4年4月1日 総務課(庶務)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区が所管する施策及び事業について、立案段階から区民の意見を把握し適宜これを反映させるとともに、その実績及び成果の評価に係る意見を聴くことを目的とし、区政におけるPDCAサイクルの確立を図る。
	内容	区政会議を年4回開催する。 ・施策・事業の企画段階や事後だけではなく執行段階においても区政会議委員の意見を聴取して必要に応じて反映するなど、区政会議委員とより活発な意見交換を行う。 ・区政運営について、区役所の自己評価に対する意見に加え、委員の評価を直接受ける。前年度の結果を踏まえ、運営の改善に取り組む。 ・委員から出された意見などについて、区政への反映状況や反映できなかった場合の理由を区政会議の場で明らかにする。 ・当区役所の他の会議体(地域福祉推進会議、総合教育会議、防災会議、地域まちづくり実行委員会委員長会)と連携し、各会議体より抽出された議題について、区政会議において意見聴取し、当該会議体へのフィードバックを行う。
	予算額(予算科目)	5千円(消耗品費)、68千円(通信運搬費)、177千円(筆耕翻訳料)
	事業実施期間(回数)	令和4年4月～令和5年3月(全体会議:年4回)
	事業対象者(人数)	区政会議委員 他
	契約・入札方法	—
委託関係	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月24日 事前資料・質問票等の送付(※開催1か月前) 2月18日 事前質問に対する回答の送付(※開催1週間前) 2月25日 令和3年度第4回区政会議(令和4年度運営方針(案)、予算(案)、各会議体から抽出した議題等) 3月:各会議体へのフィードバック(第4回分)	2月 HP(第4回案内) 2月 区広報紙(第4回案内) 3月HP(第4回報告) 4月 区広報紙(第4回報告)	○	○
	4月:各会議体からの議案の抽出にかかる照会 5月 17 ²⁰ 日 事前資料・質問票等の送付(※開催1か月前) 6月 10 ¹³ 日 事前質問に対する回答の送付(※開催1週間前) 6月17日 令和4年度第1回区政会議(令和3年度運営方針自己評価、各会議体から抽出した議題等)	5月 区広報紙(第4回報告) 6月 区広報紙(第1回案内) 6月 HP(第1回案内) 7月HP(第1回報告)	○	○
7月	7月:各会議体からの議案の抽出にかかる照会(リマインド) 各会議体へのフィードバック(第1回分) 8月 16 ²⁰ 日 事前資料・質問票等の送付(※開催1か月前) 9月 9 ¹³ 日 事前質問に対する回答の送付(※開催1週間前) 9月16日 令和4年度第2回区政会議(令和5年度予算編成に向けて将来ビジョン2025(骨子)、各会議体から抽出した議題等)	9 ⁸ 月 区広報紙(第1回報告) 9月 HP(第2回案内) 10月 HP(第2回報告) 9月 区広報紙(第2回案内)	○	○
	10月:各会議体からの議案の抽出にかかる照会(リマインド) 各会議体へのフィードバック(第2回分) 11月 14 ¹⁶ 日 事前資料・質問票等の送付(※開催1か月前) 12月9日 事前質問に対する回答の送付(※開催1週間前) 12月16日 令和4年度第3回区政会議(令和5年度運営方針(素案)、将来ビジョン2025(素案)←各会議体から抽出した議題等) 12月:各会議体からの議案の抽出にかかる照会(リマインド) 各会議体へのフィードバック(第3回分)	11月区広報紙(第2回報告) 11月 HP(第3回案内) 11月区広報紙(第3回案内) 12月HP(第3回報告) 2月 区広報紙(第3回報告)	○	○
10月	1月 16 ¹⁷ 日 事前資料・質問票等の送付(※開催1か月前) 2月 9 ¹⁰ 日 事前質問に対する回答の送付(※開催1週間前) 2月16日 令和3年度第4回区政会議(将来ビジョン2025(案)、令和4年度運営方針(案)、予算(案)、令和5年度事業・業務計画書(案)←各会議体から抽出した議題等) 3月:各会議体へのフィードバック(第4回分)	2月 HP(第4回案内) 2月 区広報紙(第4回案内) 3月HP(第4回報告) 4月 区広報紙(第4回報告)	○	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		大正区区政会議		
イベント等開催関係	開催日時	6月17日、9月16日、12月16日、2月16日 午後6時30分～8時30分		
	開催場所	大正区区民ホール		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	18:30 開会・区長あいさつ 19:05 議事 事務局から説明後、委員から質問・意見、委員間での議論 20:30 閉会		
	挨拶者	区長		
	来賓紹介	大正区内選出議員、大正消防署長、大正警察署長(オブザーバー)		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		全課 委嘱する市民の方に委嘱の趣旨・目的をしっかりと理解していただくための取組を進めるとともに、一人に多くの委嘱をすることがないように配慮する		
前年度実績		・区政会議の開催(4回)(令和3年度) ・区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議委員の割合:62.5 ・適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議委員の割合:75.0		
業績目標	実績	区政会議の開催に際して、区政会議委員からの事前質問受付、それに対する事前回答及び事後質問・回答の実施:年4回(区政会議の開催数に準じる)	年4回	自己評価 ○
成果目標	実績	区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議委員の割合:87.5%以上 区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議委員の割合:90%以上	・区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議委員の割合:100% ・区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議委員の割合:81.8%	△
中期展望		多様な区民の意見やニーズを区政に反映するとともに、区民による区政の評価のできる仕組みが定着した状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		区民の代表である区政会議委員から区役所・委員間での意見交換が行われている、また、委員の意見等へのフィードバックができていたとの評価を得ることは、当区区政会議が区民の意見を反映し、区民から区政への評価を適切に受ける場として機能していることを示し、「仕組み」としての区政会議の定着につながるため。		

SDGsゴール	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	・「スケジュール」欄の修正
------	---------------

【5】「区民が主役」のまちへ

5-3 情報発信・伝達力の強化

◆ 目指すべき将来像

全ての区民・区内企業にきめ細かく行き届いた必要な情報が提供でき、さらに、区民の市・区政への関心を高めまちづくりや地域活動への積極的な参画につながっている状態。

◆ 施策

- ・ 区広報紙による広報
- ・ 各種広報媒体やプロモーション活動による情報発信

◆ 施策目標

【区民アンケート調査】

- ・ 区役所から必要な時に必要な情報が届いていると感じる人 60%（令和4年度）
- 〔市政改革プランH30結果 47.2%〕

◆ 具体的取組（事業・業務計画書）

取組番号	事業名
5-3-1	広報紙「こんにちは大正」の製作（企画編集・印刷・全戸配布）
5-3-2	区の行政情報・魅力発信の充実

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-3-1	広報紙「こんにちは大正」の製作(企画編集・印刷・全戸配布)	令和4年4月1日 総務課(庶務)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	市政・区政の情報を分かりやすく的確に全ての区民に伝える。特に区の重点施策についての情報発信を強化する。 また、ニーズを意識した紙面作りや市・区の施策やサービス情報を提供することにより、区民の市政・区政への理解や関心を高め、まちづくりや地域活動への積極的な参画につなげる。
	内容	広報紙「こんにちは大正」の企画・編集・印刷・全戸配布 ・大正区年間広報計画を作成し、計画に基づき区の施策や事業を掲載する。 ・区民意識調査等の結果を踏まえ、大正区で活躍する人を紹介するなど市民参加型の記事、渡船など区内の魅力を紹介する記事など、自らの区にあらためて魅力を感じられる記事を連載することにより、広報紙への期待と関心が高まることにより、これまで区の広報に興味を示していない層への浸透を図る。 ・区の情報をどのような手段(広報紙・HP・SNS等)で入手しているかを区民意識調査で調査を実施。 ・全ての世代において読みやすい紙面構成やデザインを意識した編集を行う。 ・点字版・音訳版広報紙「こんにちは大正」の製作。 ・SDGsの記事を掲載するなど全世界の課題に対して身近にできることをわかりやすく掲載し、区民の意識向上を図る。
	予算額(予算科目)	16,044千円 内訳:6,949千円(印刷製本)、委託料6,949円、53千円(報奨金)
	事業実施期間(回数)	12回
	事業対象者(人数)	区内有人の全世帯及び全事業所
委託関係	契約・入札方法	企画編集業務:地方自治法施行令167条の2第1項第2号の規定に基づく特名随意契約 印刷業務、全戸配布:事後審査型一般競争入札 点字版(点字プリンタ機器リース):事後審査型制限付一般競争入札
	募集要項のポイント	企画編集業務:限られた紙面の中で分かりやすく読みやすい紙面とするため専門性・技術力を求める。
	仕様書のポイント	企画編集業務:書体や配色など誰でも読みやすい紙面づくり、市政・区政を分かりやすく的確に全ての区民に伝える工夫がされていること 印刷業務:紙質など規格や納品日の遵守 全戸配布:期日までに区内有人の全ての世帯及び事業所にもれなく配布すること。
	選考委員等選考方式	企画・編集業務:当業務に必要な専門性・技術力を持った専門家3名による選定委員会で選定

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5日 3月	1月:実施決裁(企画編集業務、印刷業務、全戸配布業務)、募集/入札開始(企画編集業務) 2月:説明会(企画編集業務)、入札開始(印刷業務、全戸配布業務) 3月:選考会・業者決定(企画編集業務)、入札質問回答・業者決定(印刷業務、全戸配布業務) 広報紙の年間計画を作成(各担当へ年間広報計画を照会)	○	○
	4月5日	4月:契約締結、事業の開始(企画編集業務、印刷業務、全戸配布業務) 《毎月業務》 【企画編集業務】発行月の2ヶ月前から入稿及び編集。前月15日頃に校了。納品。 【印刷業務】発行月の前月の27日頃、納品 【全戸配布】発行月の1～5日(1月は1～6日)の間に区内有人の全世帯及び全事業所へ配布 【点字版・音訳版】毎月利用者へ発送。	○	○
	7月5日	区民意識調査第1回(情報入手の手段) 全戸配布:配布事業者への需要調査 《毎月業務》 【企画編集業務】、【印刷業務】、【全戸配布】、【点字版・音訳版】	○	○
	10月5日	《毎月業務》 【企画編集業務】、【印刷業務】、【全戸配布】、【点字版・音訳版】 10月:令和5年度予算要求 11～12月:次年度広報紙の契約方法及び仕様書を検討・作成。	○	○
	3月5日	区民意識調査第2回(広報紙に知りたい情報が掲載されているか、など) 《毎月業務》【企画編集業務】、【印刷業務】、【全戸配布】、【点字版・音訳版】 1月:実施決裁(企画編集業務、印刷業務、全戸配布) 2月:説明会および募集/入札開始、3月:業者決定	○	○
備考	点字プリンタ機器リース長期継続契約5カ年 平成30年6月更新			

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		【令和3年度実績】令和3年度より広報紙を全月12ページへ増ページし、毎月特集を掲載した。 ・区民参加記事：地域だより、大正PEOPLEインタビュー、#WELOVE大正区、ピンチをチャンスへを掲載。 ・SDGs特集を広報紙令和3年11月号、令和4年2月号で掲載。 【令和3年度成果】区民意識調査(令和3年度第2回調査) 広報紙に知りたい情報が「(大いに、ある程度、どちらかというと)掲載されている」と回答した割合86.5%		
業績目標	実績	広報紙発行 年12回(1月12ページ) 企画編集業務：年間4回以上(3か月に1回)区の魅力紹介記事を掲載する。	広報紙を年12回発行。 毎月表紙にて「ソージの大正さんぽ」として魅力スポット紹介を行い、区民に焦点をあてた「大正のホットな人々」の記事を連載するなど、区の魅力発信を継続した。	自己評価 ◎
成果目標	実績	区民意識調査等において ・広報紙「こんにちは大正」に区民の知りたい内容が掲載されていると感じている割合：89.8%以上	令和4年度第1回区民意識調査において「適切に対応した」と答えた区民の割合は83.3%となった。	△
中期展望		全ての区民・区内企業に必要な情報を提供することによって区民の市・区政への関心を高め、まちづくりや地域活動への積極的な参画につながっている状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		区民が、知りたい情報を得ることにより、市・区政への関心が高まり、まちづくりや地域活動へ積極的に参画するようになるため。		

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-3-2	区の行政情報・魅力発信の充実	令和4年4月1日 総務課(庶務)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	市政・区政の情報を分かりやすく的確に全ての区民に伝える。 また、ニーズを意識した情報を提供することにより、区民の市政・区政への理解や関心を高め、まちづくりや地域活動への積極的な参画につなげる。
	内容	各種広報媒体を活用した区の行政情報・魅力発信の充実。発信するコンテンツに最適なツールを見極め、効果的な発信を行っていく。 【共通事項】 行政情報発信・魅力発信等広報事業の統括。 市民目線のさらなる向上のため、区HP・SNSの作成について職員研修を実施、実施後各担当にて区HPを修正し、報告を受けるなど技術支援を行う。 ホームページ、SNS(フェイスブック、ツイッター、ライン)で行政情報や魅力発信を行うことで、区民・市民の市・区政への関心を高め、まちづくりや地域活動の積極的な参画や、市民サービスの向上を図る。 ホームページやSNSへのアクセス数、および区民意識調査結果を分析し、情報発信を強化する。 SNSでの行政情報・魅力発信について、SNSでアンケートを実施。 区の行政情報・魅力発信の動画をさわやか広場で放映。 【行政情報発信】 広報紙(全戸配布)、区内広報板(55カ所)、広報サポーター(33カ所(令和3年度1月末))、バス停、イオン等大阪市包括連携先へのチラシ等の掲示。くらしの便利帳での情報発信。広報サポーター拡大。 フェイスブック、ツイッターについて、総合的な行政情報とは別にテーマごとの5つの分野に分け情報発信を行う。 【魅力発信】 民間のメディアと連携することにより、区の魅力発信ツールの幅を広げていく。 #WELOVE大正区で投稿していただいたSNSの記事をシェア、リツイートし、区HP(プラグイン)で紹介する。 「昭和山 はなのみち」及び「千島公園イベント広場『くさっパひろっパ』」などの魅力スポットを積極的に広報する。 TUGBOAT大正と連携した新たな魅力発信手法の導入。 大正区の魅力を凝縮したポスターやマスコットキャラクターなどの魅力発信ツールの活用。
	予算額(予算科目)	863千円
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	すべての方
委託関係	契約・入札方法	魅力マップ制作業務委託:事後審査型一般競争入札
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5月3月 民間メディアとの連携について、他市町村や他区の事例を調査。 区HP職員研修実施。 随時: ホームページ、SNS(フェイスブック、ツイッター)、区内広報板での情報発信、広報サポーターへの広報協力依頼、バス停へのチラシ等の掲示依頼		○	○
6月5月	連携する民間メディアの募集要項を作成。 6月に情報発信・魅力発信についてのSNSでのアンケートを実施。 《通年業務》 ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ライン、区内広報板へ掲載 大正区の魅力を凝縮したポスターを掲示(区内外問わず掲示を依頼) バス停へのチラシ等の掲示依頼、SNSで広報サポーターを募集(年12回)		○	○
9月7月5月	民間メディアを募集。 区HP・SNS作成職員研修(アクセス数確認依頼)。 6月に実施したアンケート結果を事業計画に反映。 《通年業務》		○	○
11月2月5月	10月: 令和4年度予算要求 12月に情報発信・魅力発信についてのSNSでのアンケートを実施。 連携する民間メディアの募集要項を作成。 民間メディアを選定・協定締結。 区HP作成職員研修後、各担当で実施した修正内容を報告。 《通年業務》		×	×
3月5月	民間メディアを募集。 情報発信・魅力発信についてのSNSでのアンケートを実施。 12月に実施したアンケート結果を事業計画に反映。 民間メディアと連携した情報発信の実施。 《通年業務》		×	×
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		【令和3年度実績】 ・「昭和山 はなのみち」と「千島公園イベント広場『くさっぱひろっパ』」を広報紙令和3年5月号1面で広報。 ・渡船を広報紙令和3年8月号で広報。 ・#WELOVE大正区をつけてSNSで発信している記事をシェア・リツイート。 ・区HP・SNS作成職員研修実施(令和4年2月) ・SNSでの情報発信を毎日実施。 ・協定を締結する民間メディア(実績なし) 【令和3年度成果】 令和3年度区民アンケート調査 区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関する情報が、区役所から届いていると感じる区民の割合 48.3%(目標53%) 広報サポーター 35か所		
業績目標	実績	区HP・SNS作成職員研修の実施(年2回)。 協定を締結する民間メディア(2社以上) SNSでの情報発信を毎日実施。	令和4年度に区HP作成職員研修を1回実施した。SNSについては、各担当がTwitter・Facebookアカウントで適宜情報発信を実施。	自己評価 ×
成果目標	実績	区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関する情報が、区役所から届いていると感じる区民の割合 53% 「#WELOVE大正区」をつけて魅力発信するアカウントが12アカウント以上	令和4年度の区民アンケートにおいて肯定的意見の割合は56.9%となった。 令和4年度に「#WELOVE大正区」をつけて魅力発信するアカウントはTwitter9アカウント・Facebook6アカウントであった。	○
中期展望		区民の市・区政への関心が高まり、まちづくりや地域活動への積極的な参画につながっている状態をめざす。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		区民が区の実情の情報が十分届いていると感じることや、区民が区役所の情報発信に協力すること、さらには区の情報発信に参加することは、区民の市・区政への関心が高まることにつながり、ひいてはまちづくりや地域活動への積極的な参画につながり、中期展望の達成に寄与するため。		

SDGsゴール	17	パートナーシップで目標を達成しよう

修正履歴	<スケジュールの見直し> 事例調査等に「連携する民間メディアの募集要項を作成」「民間メディアを募集」「情報発信・魅力発信についてのSNSでのアンケート」「12月に実施したアンケート結果を事業計画に反映」
------	---

【5】「区民が主役」のまちへ

5-4 窓口サービスの充実

◆ 目指すべき将来像

常に大正区役所に対する信頼が確保されている状態。

◆ 施策

個人番号カードの普及啓発、公正・公平な事務執行。

◆ 施策目標

- ・すべての区民が個人番号カードを保有
- ・不適正な事務の発生件数ゼロ
- ・国民健康保険料にかかる収納率の向上

◆ 具体的取組（事業・業務計画書）

取組番号	事業名
5-4-1	窓口サービスの充実
5-4-2	マイナンバーカードの普及への取組み
5-4-3	窓口サービスにおける不適切事務の撲滅
5-4-4	国民健康保険料の未収金の減少及び未納防止
5-4-5	庶務業務及びコンプライアンスの確保
5-4-6	弁護士による無料法律相談の実施
5-4-7	不動産に関する無料相談の実施

◆ 具体的取組（事業・業務計画書）

5-4-8	区庁舎・設備等の維持管理
5-4-9	住民情報業務等の適切な運営管理
5-4-10	保健福祉課（福祉グループ）窓口受付等業務
5-4-11	介護保険料の収納率の向上
5-4-12	保健福祉課（介護保険グループ）窓口受付等業務
5-4-13	保健福祉課（健康づくり・保健活動グループ）窓口受付等業務
5-4-14	保健福祉課（こども・教育グループ）窓口受付等業務

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-1	窓口サービスの充実	令和4年4月1日 窓口サービス課 (住民登録・戸籍・保険年金)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	来庁者のニーズをふまえ、快適で利用しやすい区役所となるよう利用者の視点に立ったサービスの充実・提供を目的とする。
	内容	・住民登録・印鑑登録・住居表示に関すること及び証明、就学、特別永住者、マイナンバーカードに関すること。自動車臨時運行許可に関すること。市税に関する諸証明の発行に関すること。 ・戸籍関係届出、戸籍謄抄本・附票の写しの請求、埋火葬の許可申請に関すること。 ・国民健康保険の保険料納付・納付相談・減免・還付に関すること。 ・国民健康保険の加入・喪失・高額療養費等、後期高齢者医療制度、国民年金に関すること。 (取組内容) ・窓口来庁者アンケートの実施することにより市民満足度を検証する。 ・区民意識調査を活用することにより、普段は区役所に来ることのない人の窓口におけるニーズを分析する。 ・区役所窓口の混雑緩和と利便性の向上を目的として、窓口の待ち人数と待ち時間をスマートフォン等で随時確認できるようにHPIに窓口混雑状況を掲載する。 ・婚姻されたお二人が大正区によりいっそうの愛着を持っていただくため、オリジナル婚姻届使用の普及に努める。 ・窓口5S推進会議の開催と課題の抽出、検討、実行 ・金曜窓口延長及び日曜開庁の広報紙及びSNS(ツイッター、フェイスブック)を活用した広報
	予算額(予算科目)	70千円(通信運搬費37千円、印刷製本費33千円)
	事業実施期間(回数)	—
	事業対象者(人数)	—
	契約・入札方法	—
委託関係	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	窓口来庁者アンケート結果の検証	○	○
6月	4月	区民意識調査内容の検討 オリジナル婚姻届の印刷	○	○
9月	7月	区民意識調査の実施 窓口5S推進会議	○	○
12月	10月	区民意識調査結果の検証 窓口来庁者アンケートの実施	○	○
3月	1月	窓口来庁者アンケート結果の検証 窓口5S推進会議	○	○
備考		金曜窓口延長及び日曜開庁広報紙掲載 SNSでの広報	○	○

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		窓口来庁者アンケート		
イベント等開催関係	開催日時	10月～12月		
	開催場所	窓口待合		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	窓口サービス課へ手続等の用件のために来られた区民400名		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	実施期間 2週間程度 (調査数400名のアンケート回収次第終了)		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・来庁者アンケートの実施 1回 ・来庁者アンケートにおいて、市民満足度が76 % ・金曜窓口延長の認知率 48.8 % ・日曜開庁の認知率 37.6 %		
業績目標	実績	来庁者アンケートの実施(年1回)	令和4年11月に実施	自己評価 ○
成果目標	実績	・来庁者アンケートにおいて、市民満足度が 85%以上 ・金曜窓口延長の認知率 60%以上 ・日曜開庁の認知率 50%以上	・来庁者アンケートにおける市民満足度が85.1% ・金曜窓口延長の認知率が47.5% ・日曜開庁の認知率が38.6%	×
中期展望		区役所の格付け調査において、星2つ以上の獲得が維持されている状態		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		来庁者アンケートにおいて市民満足度85%以上の状態が維持されることで、区役所各付けへの高評価につながるものと考えられるため。 また、金曜窓口延長及び日曜開庁の認知率が高まることにより、普段区役所との接点が少ない働く世代にとってもサービスが向上していると感じる要因となるため。		

SDGsゴール	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-2	マイナンバーカードの普及への取組み	令和4年4月1日 窓口サービス課 (住民登録・戸籍)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	政府が目標として掲げる令和4年度の個人番号カード保有率100%に向けて、普及啓発等の取組みを行う。
	内容	・区広報紙、SNS(ツイッター、フェイスブック)、HPでの情報提供 ・庁内のポスター掲示や転入者へのチラシの配布 ・区政情報広告モニターでの動画再生 ・各種申請書での記載例表示や提出物の案内時におけるマイナンバーカードを目立たせる表示物や説明 ・職員が町会や地域の団体やグループの学習会や研修会などに出向き、区役所の業務についてわかりやすく説明する「出前講座」の実施 ・住民異動届出時におけるマイナンバーカード交付申請書の発行勧奨 ・マイナンバーカード受け取りにかかる来庁予約受付システムの運用
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	—
	事業対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	マイナンバーカード普及への取組のため、区民意識調査結果を分析し、効果的な手法の検討を行う。		○
	4月～6月	・マイナンバーカード普及への取組みを行う。 ・啓発の効果の測定を行うため、区民意識調査を行う。 ・【随時】出前講座の実施 ・【通年】マイナンバーカード受け取りにかかる来庁予約受付システムの運用	SNSでの広報 ポスター掲示	○
	7月～9月	・マイナンバーカード普及への取組みを行う。	SNSでの広報	○
	10月～12月	・マイナンバーカード普及への取組みを行う。 ・区民意識調査にて、啓発の効果の測定を行い、さらなる普及に向けた取組みを検討する。	SNSでの広報	○
	1月～3月	・マイナンバーカード普及への取組みを行う。	マイナンバーカード普及啓発 広報紙掲載 SNSでの広報	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等 開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	—			
その他他課との連携等		—		
前年度実績		区民のマイナンバーカードの保有率 41 % 交付枚数 25,692 人(令和4年3月末時点)(令和4年4月1日時点の区の人口:62,961人) 区民意識調査において、 ・「そもそも個人番号カード(マイナンバーカード)のことを知らない」と回答する割合 0.2% ・「持っていないし、作りたいと思わない」と回答する割合 27.7 % ・「持っているが、使っていない」と回答する割合 35.9 % 区広報紙への掲載 2回 SNSでの広報 年10回		
業績目標	実績	区広報紙への掲載 1回 SNSでの広報 年10回	・区広報紙7月号の区長コラム欄 の他、出張申請窓口の記事を3月 号まで継続して掲載。 ・出張申請窓口の記事を毎月発信	自己評価 ○
成果目標	実績	区民のマイナンバーカード保有率80%	・令和5年3月末での交付率が 63.6%	×
中期展望		令和4年度でのマイナンバーカードの保有率80%		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		—		

SDGsゴール	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-3	窓口サービスにおける不適切事務の撲滅	令和4年4月1日 窓口サービス課 (住民登録・戸籍・保険年金)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	不適切な事務処理の発生を防ぎ、24区における事務レベルの底上げを図る必要がある。(市政改革プラン3. 0、改革の柱4、3区役所業務のさらなる標準化の推進) 当区では、戸籍の不正閲覧や窓口手数料の着服等の不祥事が発生、国民健康保険については不適切な事務処理による保険料の徴収漏れが発生したため、二度と起こさないという決意のもと不適切事務を防止し、市民の信頼回復に努める。
	内容	・不適切事務が発生した際には、速やかに上司に報告し、組織で対応していく体制を築くため風通しの良い職場づくりに努める。 ・1か月の自身の業務を振り返り、不適切事務を防止するためのチェック項目について遵守できていたか確認するセルフチェックを毎月実施する。 ・不正閲覧防止対策として、年1回以上、アクセスログ調査(住民登録・戸籍・保険年金)を実施する。
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	—
	事業対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月	毎月のセルフチェック アクセスログ調査		○	○
	4月 6月 5月	毎月のセルフチェック アクセスログ調査(保険年金)		○	○
	7月 9月 5月	毎月のセルフチェック アクセスログ調査(保険年金)		○	○
	10月 12月 5月	毎月のセルフチェック アクセスログ調査(保険年金・住民登録・戸籍)		○	○
	1月 3月 5月	毎月のセルフチェック アクセスログ調査(保険年金)		○	○
備考					

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	—			
その他他課との連携等				
前年度実績		不適切事務の件数 3 件 (住民登録・戸籍)毎月のセルフチェック(年12回)、アクセスログ1回調査 (保険年金)毎月のセルフチェック(年12回)、アクセスログ 12回調査		
業績目標	実績	毎月のセルフチェック(年12回) (住民登録・戸籍)アクセスログ調査(年1回以上) (保険年金)国保業務システムアクセスログ調査 (年4回程度)	・セルフチェック 年12回実施 ・アクセスログ調査 住民情報:1回実施 保険年金:12回実施	自己評価 ○
成果目標	実績	不適切事務の件数 0件	不適切事務の件数 2件	×
中期展望		市民からの信頼が常に確保されている状態。		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		不適切事務案件が発生していない状態を継続することで市民からの信頼を得られるため		

SDGsゴール	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-4	国民健康保険料の未収金の減少及び未納防止	令和4年4月1日 窓口サービス課 (保険年金)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	令和4年度の国民健康保険料について、加入者の保険料納付に対する公平性の観点から、未収金の減少、未納防止に取り組むことにより、コロナ禍での収入減少傾向の中、令和2年度収納率(91.23%)を維持する方向で計画する。 〔市政改革プラン3. 0の改革の柱3、3効率的な行財政運営、(4)未収金対策の強化〕
	内容	初期未納からの督促強化及び処分財産判明世帯への滞納処分の強化を図る 保険担当と管理担当との連携により不現住調査、他保険加入調査など取り組むことにより資格の適正化を図る
	予算額(予算科目)	国民健康保険事業会計(区予算なし) 【参考】福祉局予算(当区配付分) ※当年度分については前年度実績を参照して配付のため現段階では未確定 (R2年度決算時) 徴収事務用:5,286千円 (R4 予算要求) ・区長マネジメント収納率向上独自取組:報酬 2,819 千円、消耗品費132 千円 ・保険料徴収関係窓口業務用:報酬 5,490千円
	事業実施期間(回数)	—
	事業対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
1 月 1 3 月	【2～3月】会計年度任用職員募集要項の区HPへの掲載、募集、試験、採用手続き		○	○
4 月 5 月	(現年度分) 【4～5月】 現年度分のみ未納世帯への催告書送付、財産調査、財産判明世帯への差押予告送付 【6月】 納付相談、減免申請受付 (滞納繰越分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分		○	○
7 月 5 月	(現年度分) 過年度相当分未収世帯への特別催告書送付、財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分及び現年度6・7月期末未納世帯への催告書送付 (滞納繰越分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分、資格者証世帯主の勤務先調査		○	○
1 0 月 5 月	(現年度分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分及び8～10月期末未納世帯への催告書送付 (滞納繰越分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分		○	○
1 月 5 月	(現年度分) 現年度分のみ未納世帯への催告書送付、財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分、年金事務所への社保加入疑義世帯調査 (滞納繰越分) 財産調査、財産判明世帯への差押予告送付及び滞納処分		○	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等				
前年度実績		令和3年度決算時点、現年度収納率 92.13%(対前年度0.90P増)本市平均 92.07%(対前年度 1.09P増)。滞納繰越分収納率 27.78%(対前年度3.22P増)、本市平均24.28%(対前年度1.01P増) 令和3年度社保疑義世帯の資格適正化等の取り組み(年3回、5月・10月・2月) 令和3年度不現住調査【住民情報担当と連携】(年1回 3月)		
業績目標	実績	最終催告書の送付による自主納付の増加、滞納処分強化による収納率の維持。 社保疑義世帯の資格適正化等の取り組みを行う。(年3回、5月・10月・2月) 不現住調査の、住民情報担当と連携しての推進。(年2回の計画)	最終催告書の送付により、滞納処分を強化した。 社保疑義世帯の資格適正化等の確保を行った。(3回) 不現住調査を住民情報担当と連携して実施(2回)	自己評価 ○
成果目標	実績	令和2年度の現年度収納率(91.23%)・滞納繰越分収納率(24.56%)の水準を維持する。	令和5年3月末現在の収納率は令和2年度の同時期と比べて、現年度は88.59%で0.88%プラス、滞納繰越分は25.85%で1.52%プラスである。	○
中期展望		本市全体の目標以上の収納率達成を継続している状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		平成30年度より実施されている国保運営の広域化にあたり、財政基盤の強化と保険料の納付の公平性の観点から、収納率の向上はより一層求められている。コロナ禍で収納率低下の環境にある中で前年度収納率を維持することで本市全体の目標水準を達成できるため		

SDGsゴール	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-5	庶務業務及びコンプライアンスの確保	令和4年4月1日 総務課		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	効果的な区政運営の行うため、区業務の進捗管理を行い、総合的かつ効率的に庶務業務を実施する。また、職員のコンプライアンス意識を向上させ、区民に対して説明責任を果たせる組織とすることで、区民の区政に対する信頼を確保する。
	内容	庶務業務においては、区業務全般の進捗管理を行い、職員がスムーズに業務が行えるようサポートする。コンプライアンスの確保については、区民に対して説明責任を果たすため、これまで、区長・副区長のマネジメントのもと、さまざまなコンプライアンス意識の向上の取組を行うことで、「来庁者等に対する窓口サービス」の格付で星二つを獲得するなど、一定の成果をあげることができた。 しかしながら、コンプライアンス違反に起因した不祥事等が依然として発生している。 職員のコンプライアンス意識を向上させ、区民に対しての説明責任を果たすために自律的な取組をうながす。 【庶務経常事務】 ・文書管理事務(文書收受、発送、各種照会・回答、情報公開・個人情報保護関係他) ・公益通報、服務規律、コンプライアンス関係事務 ・内部統制関係事務 ・法務・訴訟関係事務 (顧問弁護士の活用を含む) ・人材育成行動計画に基づく人材育成、研修の実施 ・安全衛生、公務災害、環境管理関係事務 ・会計年度任用職員等の臨時職員採用事務 ・勤怠処理 ・給与、福利厚生関係事務 ・所属長等日程管理 ・市会関係事務 ・表彰関係事務(市民表彰、美化運動功労者等) ・監査関係事務 ・ICT関係事務 ・自衛官の募集 ・災害動員、業務継続計画関係事務 ・経営会議の運営、課題の管理、事務改善 ・計理(他課等起案決裁承認)、寄付收受、財産・物品管理、小口支払基金関係事務 ・会計(支出命令の審査含む)、新公会計関係事務 ・他の所属に属さないもの 等 【コンプライアンス意識の向上の具体的取組】 ・区長、副区長が参加する朝礼の実施および職場巡視 ・コンプライアンス、ハラスメント、個人情報保護、接遇、契約・会計等に係る研修について、課題に対応した適切な研修テーマを設定するなどして効果的に実施 ・人権問題についての理解・認識を深め、人権意識の高揚を図ることを目的とし、啓発事業への参加などによる研修を実施 ・コンプライアンス推進強化月間の取組の実施 ・他所属の不祥事案の共有 ・適正な決裁・審査事務の実施
	予算額(予算科目)	597千円(接遇研修実施及び顧問弁護士利用の報償金)
	事業実施期間(回数)	接遇研修は1回以上・顧問弁護士費用は年7回
	事業対象者(人数)	区職員全員(接遇研修)
委託関係	契約・入札方法	接遇に関して極めて専門的かつ高度な知識を有し、他の地方公共団体や民間企業において、接遇に関する研修の講師実績を多数有している講師に対し、報償金として支出する。 大阪弁護士会から推薦された、行政事件について豊富な知識と経験を有し、本市行政に精通している弁護士に対し、報償金として支出する。
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

令和4年度 大正区事業・業務計画書

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	・職場環境改善等の取組の実施(11月～3月) ・区長、副区長の各課担当朝礼の参加(2月(各担当1回、計8回)) ・契約事務研修の実施(3月) ・庶務経常業務(随時) ・他所属の不祥事案の共有(随時) ・適正な決裁・審査事務の実施(随時) ・会計年度任用職員等の採用(随時)	○	○
	4月～6月	・庶務経常業務(随時) ・災害動員・業務継続計画の更新作業及び各課共有(4月～6月) ・区長、副区長の各課担当朝礼の参加(5月(各担当1回、計8回)) ・契約・会計事務研修の準備(6月～) ・適正な決裁・審査事務の実施(随時) ・会計年度任用職員等の採用(随時)	○	○
	7月～9月	・庶務経常業務(随時) ・ワーク・ライフ・バランス推進月間の取組(7月～8月) ・<u>管理監督者向け(係長級以上対象)</u> ハラスメント研修(7月) ・契約・会計事務研修の実施(8月) ・コンプライアンス推進強化月間の取組(9月) ・区長、副区長の各課担当朝礼の参加(9月(各担当1回、計8回)) ・接遇研修の内容検討(7月～9月) ・<u>接遇研修の実施(9月～11月)</u> ・適正な決裁・審査事務の実施(随時) ・会計年度任用職員等の採用(随時)	○	○
	10月～12月	・庶務経常業務(随時) ・ストレスチェックの結果を受けた対応策の検討(9月～10月) ・接遇研修の実施(<u>9月～11月</u>) ・人権研修の実施(12月) ・接遇強化月間の取組(11月～12月) ・ワーク・ライフ・バランス推進月間の取組(11月) ・コンプライアンス研修、個人情報保護研修(12月) ・管理監督者向けメンタルヘルスに関する研修(12月) ・職場環境改善等の取組の実施(11月～3月) ・適正な決裁・審査事務の実施(随時) ・会計年度任用職員等の採用(随時)	○	○
	1月～3月	・職場環境改善等の取組の実施(11月～3月) ・区長、副区長の各課担当朝礼の参加(2月(各担当1回、計8回)) ・契約事務研修の実施(3月) ・庶務経常業務(随時) ・適正な決裁・審査事務の実施(随時) ・会計年度任用職員等の採用(随時)	○	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・区長、副区長が参加する朝礼の実施および職場巡視(年3回) ・コンプライアンス、個人情報保護、接遇、契約・会計に係る研修について、課題に対応した適切な研修テーマを設定するなどして効果的に実施(各1回) ・管理監督者向けハラスメント研修(7月) ・コンプライアンス推進強化月間の取組の実施(9月) ・ワーク・ライフ・バランス推進月間の取組(7月・11月) ・接遇強化月間の取組(11月～12月) ・人権に関する研修の実施(1月) ・管理監督者向け「講師派遣型職場環境ミーティング」に関する研修(12月) ・他所属の不祥事案の共有(随時) ・不適切な事務処理事案の件数【14件】(令和3年度) ・区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果(評価項目全課平均「身だしなみ」3.7点、印象3.7点(令和3年度))		
業績目標	実績	・区長、副区長が参加する朝礼の実施および職場巡視(年3回) ・コンプライアンス、ハラスメント、個人情報保護、接遇、契約・会計等に係る研修の実施(各1回) ・コンプライアンス推進強化月間の取組の実施(9月) ・人権に関する啓発事業への参加などによる研修の実施(12月) ・ストレスチェックの結果に基づく職場改善の取組の実施(11月～3月)	・区長、副区長が参加する朝礼の実施及び職場巡視(5月・9月・2月) ・ハラスメント研修(係長級以上対象)の実施(7月) ・契約・会計等研修の実施(8月) ・コンプライアンス推進強化月間の取組の実施(9月) ・窓口サービスアップ研修の実施(9～11月) ・接遇強化月間の取組の実施(9月～11月) ・服務研修、コンプライアンス研修・個人情報保護に関する研修の実施(11月～1月) ・管理監督者向けラインケア研修(12月) ・法務事務及び臨時職員採用にかかる区ガイドラインの説明会の実施(12月) ・人権に関する研修の実施(12月～1月) ・他所属の不祥事案の共有(随時)	自己評価 ○
成果目標	実績	・不適切な事務処理事案の件数を前年度から10%減とする ・「区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果」において、評価項目「身だしなみ」3.4点以上、「印象」3.4点以上を獲得する。	・不適切な事務処理事案の件数8件で前年度から約43%減(昨年度14件) ・区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果(評価項目全課平均「身だしなみ」3.8点、「話し方、説明」4.3点)	◎
中期展望		コンプライアンスを確保し、区民に対して説明責任を果たすことで、より一層の区政に対する信頼を確保する。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		区役所来庁者等に対するサービスの維持・向上を図り、不適切事務処理事案の発生件数を減らすことが、区政に対する信頼の確保に必要なため。		

SDGsゴール	5	ジェンダー平等を実現しよう
	10	人や国の不平等をなくそう
	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	スケジュール修正
------	----------

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-6	弁護士による無料法律相談の実施	令和4年4月1日 総務課(庶務)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	法的知識を要する問題を抱える市民の問題解決のため、弁護士が情報提供や助言を行い、市民福祉の増進に寄与することを目的とする。
	内容	・弁護士による無料法律相談(原則毎月第1～第4水曜日 午後1時～5時) ・面談による相談の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで行う。 ・面談による相談が実施困難となった際は、速やかに本庁舎での電話相談に切り替える。
	予算額(予算科目)	市民局予算
	事業実施期間(回数)	通年(年45回 原則毎月第1～第4水曜日)
	事業対象者(人数)	各回定員8名(相談時間は1人30分)
委託関係	契約・入札方法	市民局で契約
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月5日 3月	弁護士による無料法律相談を実施	3月 HPに次年度の年間予定表を掲載	○	○
	4月5日 6月	弁護士による無料法律相談を実施	毎月 広報紙へ掲載	○	○
	7月5日 9月	弁護士による無料法律相談を実施	毎月 広報紙へ掲載	○	○
	10月5日 12月	弁護士による無料法律相談を実施	毎月 広報紙へ掲載	○	○
	1月5日 3月	弁護士による無料法律相談を実施	毎月 広報紙へ掲載	○	○
備考					

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		弁護士による無料法律相談		
イベント等 開催関係	開催日時	原則毎月第1～第4水曜日 午後1時～5時		
	開催場所	大正区役所5階503会議室		
	区役所の主催等	市民局実施事業		
	その他主催団体・組織等	大阪弁護士会へ委託		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	各回定員8名(相談時間は1人30分)		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	9:00～ 電話にて受付(先着順) 13:00～17:00 弁護士による無料法律相談(1人30分)		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		【令和3年度実績見込み】 年間45回開催 定員に占める相談者の割合:92.8% 相談者の満足度(アンケートで「満足した」「やや満足した」と回答した人の割合):93.2%		
業績目標	実績	弁護士による無料法律相談(年間45回開催)	年間45回開催	自己評価 ○
成果目標	実績	相談者へのアンケートで「問題解決に必要な助言が得られた」と回答した人の割合:80%以上	アンケートにおいて、「十分に得ることができた」「ある程度得ることができた」と回答した人の割合は、82.6%となった。	○
中期展望		法的知識を要する問題を抱える市民の問題解決の手段として、無料法律相談を浸透させる。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		相談者を増加させるとともに満足度を高めることが、事業の浸透		

SDGsゴール	10	人や国の不平等をなくそう

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-7	不動産に関する無料相談の実施	令和4年4月1日 総務課(庶務)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	市民が生活する上で生じる不動産の賃貸及び売買や宅建業法に関する一般的な相談に応じて助言を行い、もって市民の利益保護に資することを目的とする。
	内容	・全日本不動産協会大阪府本部中央支部及び大阪府宅地建物取引業協会西支部と協力し、不動産に関する無料相談を実施。(奇数月の第3火曜日 午後1時～4時) ・面談による相談の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで行う。 ・面談による相談が実施困難となった際を想定し、電話相談など面談によらない方法について検討・実施。
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	年6回(奇数月の第3火曜日)
	事業対象者(人数)	各回定員6名(相談時間は1人30分)
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 3月	1月、3月 広報紙に掲載	○	○
	3月			
6月	4月 5月	5月 広報紙に掲載	○	○
9月	7月 9月	7月、9月 広報紙に掲載	○	○
10月	11月	11月 広報紙に掲載	○	○
3月	1月 3月	1月、3月 広報紙に掲載	○	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		不動産に関する無料相談		
イベント等開催関係	開催日時	奇数月の第3火曜日 午後1時～4時		
	開催場所	大正区役所 2階さわやか広場		
	区役所の主催等	協力		
	その他主催団体・組織等	全日本不動産協会大阪府本部中央支部、大阪府宅地建物取引業協会西支部		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	各回定員6名（相談時間は1人30分）		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	開催日の2週間前から 電話にて受付（先着順） 当日 13:00～16:00 不動産に関する無料相談（1人30分）		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		【令和3年度実績見込み】 年4回開催 定員に占める相談者の割合 66.6% 相談者の満足度（アンケートで「大変良かった」「良かった」と回答した人の割合）：93.8%		
業績目標	実績	不動産に関する無料相談（年5回開催）	目標どおりの回数を開催した。	自己評価 ○
成果目標	実績	相談者へのアンケートで「問題解決に必要な助言が得られた」と回答した人の割合：80%以上	アンケートにおいて、「満足した」「やや満足した」と回答した人の割合は、93.3%となった。	◎
中期展望		市民が生活する上で生じる不動産の賃貸及び売買や宅建業法に関する一般的な相談ができる場として、不動産相談を浸透させる。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		相談者を増加させるとともに満足度を高めることが、事業の浸透に繋がるため		

SDGsゴール	10	人や国の不平等をなくそう

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-8	区庁舎・設備等の維持管理	令和4年4月1日 総務課(庶務)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区役所庁舎諸設備の各機能が、正常かつ安全に働くように維持し、快適で衛生的な状態の管理を行う。また、限られた予算の有効活用並びに、環境保全の観点から光熱水費の削減を図る。
	内容	区役所庁舎設備の運営にかかる光熱水費の支払いをはじめ、設備の安全で快適、衛生的な状態での管理のための諸業務を行うとともに自衛消防訓練など職員への防火教育を行う。 また、夏期冬期の庁舎内温度の適正管理や、不要な照明の消灯による節電、照明器具のLED化により光熱水費を削減する。
	予算額(予算科目)	18,532千円(消耗品費、光熱水費、建物修繕費、通信運搬費、手数料、委託料、使用料、庁用器具費、負担金 区庁舎設備維持費)
	事業実施期間(回数)	通年
	事業対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	区庁舎等保守点検業務については都市整備局による西エリア一括入札
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度) 1月 5月 3月	・庁舎、設備等のメンテナンス ・自衛消防訓練 ・適正な空調管理		○	○
4月 6月 5月	・庁舎・設備等のメンテナンス ・適正な空調管理 ・案内表示の点検・改善 ・光熱水費節減の周知		△	△
7月 9月 5月	・庁舎、設備等のメンテナンス ・防火教育(e-ラーニング) ・適正な空調管理		○	○
10月 12月 5月	・庁舎、設備等のメンテナンス ・適正な空調管理 ・光熱水費節減の周知 ・案内表示の点検・改善		△	△
3月 1月 5月	・庁舎、設備等のメンテナンス ・自衛消防訓練 ・適正な空調管理 ・案内表示の点検・改善		○	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
祝電紹介の方法	—			
動員の方法	—			
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・光熱水費（令和3年度） 令和元年度電気代 8,167,519円 令和元年度ガス代 2,707,595円 令和元年度水道代 2,212,338円 令和3年度電気代 6,616,635円 令和3年度ガス代 2,632,753円 令和3年度水道代 2,536,604円 効果額 1,550,884円 効果額 74,842円 効果額 -324,266円 (19.0%減) (2.8%減) (14.7%増) (参考) 令和2年度電気代 7,068,879円 令和2年度ガス代 2,521,963円 令和2年度水道代 2,081,547円 ※ 令和2年度は夏期空調機故障の影響で光熱水費大幅に減(電気・ガス・水道) ・区役所の来庁者等に対するサービスの調査・評価による格付け結果…評価項目「庁舎の快適性」 令和2年度＝3.0点 令和3年度＝3.7点		
業績目標	実績	・各フロアの室温や会議室の使用状況を把握(行事予定表等により)し、適正な空調管理に努めるとともに、職員に対して積極的に光熱水費の節減に努めるよう周知を行う。特に冷暖房切替時にはより一層の節減を意識するように周知を行う。(2回)	・各フロアの室温や会議室の使用状況を把握し、適正な空調管理に努め、冷暖房切替時にはより一層の節減を意識するように周知を行った。(1回)	自己評価 ×
成果目標	実績	・令和3年度実績より光熱水費を3%経費削減。 ・区役所の来庁者等に対するサービスの調査・評価による格付け結果…評価項目「庁舎の快適性」を3.7点以上にする。	・光熱水費が令和3年度実績より42%増(16,771,925円) ・区役所の来庁者等に対するサービスの調査・評価による格付け結果…評価項目「庁舎の快適性」4.0点	×
中期展望		・今後は、エスコ事業の利用による庁舎内照明のLED化など、経費削減をめざす。 ・「大阪市公共施設マネジメント基本方針」にもとづき、『長寿命化の推進』『用途転用による施設の有効活用』などの取組みを進めるとともに、区役所が区民をはじめ来庁者にとって快適で満足できる場所となることをめざす。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		・光熱水費の支出を抑制することが、中期展望に寄与することになるため。 ・サービスの調査・評価における「庁舎の快適性」の向上が、来庁者にとって区役所が快適で満足できる場所となることにつながるため。		

SDGsゴール	6	安全な水とトイレを世界中に
	7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに
	13	気候変動に具体的な対策を

修正履歴	・スケジュールの削除・追記
------	---------------

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-9	住民情報業務等の適切な運営管理	令和4年4月1日 窓口サービス課 (住民登録・戸籍)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	区役所における市民サービスの向上及び効率的な業務運営を目的とする。 (市政改革プラン3. 0、改革の柱4、3区役所業務のさらなる標準化の推進)
	内容	・民間のノウハウを活用した効率的・効果的な運営、市民満足度の向上、個人情報保護の徹底、モニタリングの実施と品質の向上を図る。 ・委託者と受託者が意見交換を行うための定例会議を開催し、行政サービス水準の維持と市民サービスの向上を図る。 ・一方で、委託をすることによって失われる職員の処理スキルの回復のため、閑散期での端末研修を継続的に実施する。
	予算額(予算科目)	43,933千円(委託料)【内訳:39,790千円(区まち)・4,316千円(市民局)】
	事業実施期間(回数)	令和2年4月～令和5年3月
	事業対象者(人数)	
委託関係	契約・入札方法	プロポーザル
	募集要項のポイント	令和2年3月～令和5年3月までの履行期間で契約
	仕様書のポイント	サービス水準の達成度ポイントに連動した契約金額の支払い
	選考委員等選考方式	

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月		-	-
6月	4月 ・委託契約の履行の管理及び委託料の支出 ・サービス水準の評価(第1四半期) ・業務報告定例会議(月1回)		○	○
9月	7月 ・委託契約の履行の管理及び委託料の支出 ・サービス水準の評価(第2四半期) ・業務報告定例会議(月1回)		○	○
12月	10月 ・委託契約の履行の管理及び委託料の支出 ・サービス水準の評価(第3四半期) ・業務報告定例会議(月1回)		○	○
3月	1月 ・委託契約の履行の管理及び委託料の支出 ・サービス水準の評価(第4四半期) ・業務報告定例会議(月1回)		○	○
備考	サービス水準の評価にあたり、事業者にて来庁者アンケートを行う。 随時、職員の端末操作実務研修を実施する。			

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		定例会議		
イベント等開催関係	開催日時	毎月1回、1時間程度の会議を定例開催する。		
	開催場所	窓口サービス課 住民情報グループ 打ち合わせ室		
	区役所の主催等	主催		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	次第 1前月の事業内容の報告 2意見交換 3その他		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		来庁者アンケートにおいて、市民満足度が5月 98.3 % 8月 100 % 11月 99.3 % 2月 98.8 % 定例会議 12回開催 業務改善提案を年 5 件実現		
業績目標	実績	・仕様書どおりの業務履行の確保 ・業務改善提案を年4件以上実現する。	・仕様書通りの業務履行が確保できた ・業務改善提案を7件実現した	自己評価 ○
成果目標	実績	委託事業者が行う年4回の来庁者アンケートにおいて、市民満足度が全て90%以上	・四半期ごとに実施した来庁者アンケートにおいて、市民満足度がすべて90%以上を達成できた。	○
中期展望		民間事業者への委託によって、窓口サービス水準の維持・向上を図る。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		民間のノウハウを活用した効果的・効率的な運営等により、来庁者アンケートにおいて、毎年90%以上の市民満足度をクリアすることは、区民の方に安定した窓口サービスを提供していると考えられるため。		

SDGsゴール	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-10	保健福祉課(福祉グループ)窓口受付等業務	令和4年4月1日 保健福祉課(福祉)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	保健福祉課(福祉グループ)窓口受付等業務について、市民サービスの向上並びに不適切な事務処理の撲滅に取り組む。
	内容	保健福祉課の多岐にわたる受付業務において、丁寧で正確な対応を行えるように、受付業務に関する学習会を開催し、各種制度の知識向上及び課題の抽出・検討を行い不適切事務の発生を防ぐとともに、区で開催する接遇研修を受講し、笑顔・あいさつを心がけるなど窓口を訪れた来庁者が気持ち良いと思える対応に取り組む。 【受付業務一覧】 ・成年後見制度に係る審判の請求・老人医療費助成制度・重度障がい者医療費助成制度・障がい者福祉サービス・障がい児福祉サービス・移動支援・日中一時支援・療育手帳・身体障がい者手帳・補装具費給付・日常生活用具給付(障がい者)・特別障がい者手当・障がい児福祉手当・特別児童扶養手当・外国人身心障がい者給付金・精神保健福祉・精神保健福祉手帳・乗車料金福祉措置及び重度障がい者等タクシー料金給付・自立支援医療(更生医療・育成医療)・住宅改修費給付事業・大阪府重度障がい者在宅生活応援制度・点字図書・NHK放送受信料免除基準該当証明・心身障害者扶養共済・自動車税軽自動車税の減免にかかる証明・有料道路障がい者割引・戦傷病者戦没者遺族弔慰金・総合的な相談支援体制の充実事業 【接遇研修】 ・窓口サービスアップ研修
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	事業対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 5月 3月	受付業務の見直し・改善 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○
	4月 6月	受付業務に関する学習会の開催【随時】 受付業務の見直し・改善に向けた課題の抽出、検討 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○
	7月 9月	受付業務に関する学習会の開催【随時】 受付業務の見直し・改善に向けた課題の抽出、検討 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○
	10月 12月	受付業務に関する学習会の開催【随時】 受付業務の見直し・改善に向けた課題の抽出、検討 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善 接遇研修の受講、接遇強化月間(11月・12月)の取組の実施		○
	1月 3月	受付業務に関する学習会の開催【随時】 受付業務の見直し・改善に向けた課題の抽出、検討 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	—			
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・学習会開催回数:年2回(令和3年度) ・区で開催する接遇研修の受講率:100%(11/11人)(令和3年度) ・窓口サービス格付け調査の評価点平均 4.0(令和3年度) ・不適切事務の未発生期間 12か月(令和3年度)		
業績目標	実績	・学習会開催:年2回 ・区で開催する接遇研修の受講率:100%(11人/11人)	・学習会2回 ・100%	自己評価 ○
成果目標	実績	・窓口サービス格付け調査の評価点平均 3.7以上 ・不適切事務の未発生期間 12か月以上	・平均点 4.0点 ・12ヶ月	○
中期展望		大正区役所に対する信頼が確保されている状態		
成果目標が中期展望に寄与する理由		不適切事務が発生しない状態の維持・継続、来庁者の満足度の向上を図っていくことが、大正区役所に対する信頼の獲得につながるものと考えられるため		

SDGsゴール	3	すべての人に健康と福祉を
	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-11	介護保険料の収納率の向上	令和4年4月1日 保健福祉課(介護)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	介護保険を今後も持続可能な制度として維持・継続するとともに、被保険者間の公平性を確保するために介護保険料の収納率の向上を図る。
	内容	きめ細やかな納付相談・納付指導や口座振替勧奨、滞納者への計画的・継続的な納付督促、保険資格の確認の徹底、厳正な滞納処分の実施など収納対策を強化し、収納率の向上に取り組む。
	予算額(予算科目)	介護保険事業会計 福祉局予算148,414千円(内区分予算 1,503千円)令和4年度
	事業実施期間(回数)	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	事業対象者(人数)	介護保険料滞納者
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	令和3年度第3次収納対策期間(2月～3月)		○
6月	4月	前年度の第1次～第3次収納対策対象のフォロー(出納閉鎖期間)		○
9月	7月	福祉局介護保険課及び市債権回収対策室と連携した令和4年度第1次収納対策期間(7月～9月)の取り組みを行う。 また、全期間を通じて区の独自対策として、滞納のある介護認定更新対象者に対しての納付督促を行う。		○
10月	11月	令和4年度第2次収納対策期間(11月～1月)		○
3月	1月	令和4年度第3次収納対策期間(2月～3月)		○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
	動員の方法	—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		収納率98.60%(令和3年度) 給付実績のある滞納者の期別保険料全件の27件について納付督促を行った。(令和3年度) 生保受給期間に滞納となった期別保険料全体の58件について納付督促をおこなった。(令和3年度)		
業績目標	実績	給付実績のある滞納者の期別保険料及び生保受給期間に滞納となった期別保険料に対しての納付督促を行う。 (目標:対象者全員、ただし、入院中等の特別の場合を除く)	給付実績のある滞納者全件の40件及び生保受給期間に滞納のある全件の41件に対しての納付督促を行った	自己評価 ○
成果目標	実績	被保険者全体の公平性を図る観点から滞納者への納付指導に取り組み、前年度(98.31%)を上回る収納率を目指す。	令和4年度収納率98.71%	○
中期展望		歳入の確保や健全な財政運用を図り、介護保険制度を持続可能な制度として維持・継続している状態。		
成果目標が中期展望に寄与する理由		未収金対策の強化で収納率を向上させ、歳入の確保をはかることにより、被保険者間の保険料負担の不公平感をなくし、また健全な財政運営を図ることができる。そのことにより介護保険制度を持続可能な制度としていくことに寄与できるため。		

SDGsゴール	3	すべての人に健康と福祉を

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-12	保健福祉課(介護保険グループ)窓口受付等業務	令和4年4月1日 保健福祉課(介護)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	保健福祉課(介護)グループの窓口受付業務について、市民サービスの向上並びに不適切な事務処理の撲滅に取り組む。
	内容	保健福祉課の多岐にわたる受付業務において、丁寧で正確な対応を行えるように、受付業務に関する学習会を開催し、各種制度の知識向上及び課題の抽出・検討を行い不適切事務の発生を防ぐ。 ・所属が開催する接遇研修の受講を通じて、窓口サービスの質の維持・向上に取り組む。 受付業務一覧 ・介護保険・敬老優待乗車証・成年後見制度に係る審判の請求・日常生活用具給付(高齢者)・介護用品支給・養護老人ホーム・外国人高齢者給付金
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	—
	事業対象者(人数)	—
委託関係	契約・入札方法	—
	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業	
(前年度)	1月 5月 3月	受付業務の見直し・改善 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○	○
	6月 4月 5月	受付業務に関する学習会の開催 課題の抽出、検討 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○	○
	7月 9月 5月	課題の抽出、検討 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○	○
	10月 2月 5月	受付業務に関する学習会の開催 課題の抽出、検討 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○	○
	3月 1月 5月	課題の抽出、検討 受付業務の見直し・改善 不適切事務の撲滅に向けた改善事例の共有、事務の改善		○	○
備考					

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容			
講座・イベント・会議名		-			
イベント等開催関係	開催日時	-			
	開催場所	-			
	区役所の主催等	-			
	その他主催団体・組織等	-			
	共催団体・組織等	-			
	後援団体・組織等	-			
	目標事業規模	-			
	その他留意事項	-			
	イベント等 当日タイムテーブル	-			
	挨拶者	-			
	来賓紹介	-			
祝電紹介の方法		-			
動員の方法		-			
その他他課との連携等		-			
前年度実績		・学習会年4回開催(令和3年度) ・不適切事務改善事例の共有 年2回(令和3年度) ・不適切な事務処理事案の件数 0件(令和3年度) ・区で開催する接遇研修の受講率:100%(9人/9人) ・窓口サービス課格付け調査の評価で平均4.0(保健福祉課)			
業績目標	実績	・学習会年4回以上開催 ・区で開催する接遇研修の受講率:100%(9人/9人) ・不適切事務改善事例の共有 年4 回	・学習会年4回開催実施した ・区で開催する接遇研修の受講率:100%(9人/9人)受講した ・不適切事務改善事例の共有 年4 回開催した	自己評価 ○	
成果目標	実績	・窓口サービス格付け調査の評価で平均4.0以上 ・不適切事務の未発生期間 12か月以上	・不適切事務5月と9月に発生した。それ以降の未発生期間6か月以上継続中 ・窓口サービス格付け調査の評価点平均 4.0	×	
中期展望		大正区役所に対する信頼が確保されている状態			
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		不適切事務が発生しない状態の維持・継続、来庁者の満足度の向上を図っていくことが、大正区役所に対する信頼の獲得につながるものと考えられるため			

SDGsゴール	3	すべての人に健康と福祉を

修正履歴	
------	--

令和4年度 大正区事業・業務計画書

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-13	保健福祉課(健康づくり・保健活動グループ)窓口受付等業務	令和4年4月1日 保健福祉課(健康づくり) 保健福祉課(保健活動)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	受付業務に精通した職員による丁寧な窓口業務を実施することにより、区民サービスの向上と効率的な区行政の運営を図る
	内容	保健福祉課の多岐にわたる受付業務において、丁寧で正確な対応を行う。各種制度の知識向上及び課題の抽出・検討を行い、正確な窓口業務を実現するために日々の朝礼にて注意喚起を行い不適切事務の発生を防ぐ。所属が開催する「窓口サービスアップ研修」の受講を通じて、窓口サービスの質の維持・向上を図ることにより、来庁者に来てよかったと感じてもらえる接遇に取り組む。 ・個人情報の漏洩については、常にコンプライアンス意識を持ち、重要管理ポイント設定届に基づき、毎月セルフチェックシートにより各自が送付・交付・持出において、都度ダブルチェックを行うよう不適切事務の発生を防ぐことの重要性の確認を行う。 また、課長級は随時係長以下の職員に対しヒアリングを行いヒヤリハットの事象がないか検証する。 ●受付業務一覧 ・母子保健・乳幼児健診・健康相談・新生児訪問・乳幼児精密検査依頼・妊婦健康診査受診還付・産後ケア事業・母子手帳・地区担当保健師による予約制母子健康手帳交付時妊婦面接(試行実施)・不妊治療医療費助成・小児慢性特定疾病医療費助成・健康診査・特定健康診査・特定保健指導・がん検診・長期療養児・歯科保健・栄養指導・食育・食生活栄養相談・公害健康被害補償・感染症対策・結核・BCG・HIV・予防接種・難病・特定疾患・医療法届出・医師免許等・保健師業務・環境衛生・食品衛生・狂犬病予防・動物愛護
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	—
	事業対象者(人数)	—
	契約・入札方法	—
委託関係	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)		広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月 3月	受付業務の見直し・改善	○	○
6月	4月 5月	課題の抽出・検討、受付業務の見直し・改善 受付業務に関する学習会の開催 朝礼における注意喚起 セルフチェックシートによる振り返り(1回/月)	○	○
9月	7月 8月	課題の抽出・検討、受付業務の見直し・改善 朝礼における注意喚起 セルフチェックシートによる振り返り(1回/月)	○	○
12月	10月 11月	課題の抽出・検討、受付業務の見直し・改善 窓口サービスアップ研修 接遇強化月間(11・12月)の取り組み 朝礼における注意喚起 セルフチェックシートによる振り返り(1回/月)	○	○
3月	1月 2月	課題の抽出・検討、受付業務の見直し・改善 受付業務に関する学習会の開催 朝礼における注意喚起 セルフチェックシートによる振り返り(1回/月)	○	○
備考				

令和4年度 大正区事業・業務計画書

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
祝電紹介の方法		—		
動員の方法		—		
その他他課との連携等		—		
前年度実績		不適切な事務処理事案の件数1件 ・窓口サービス格付け調査の評価点平均3.5 ・学習会の年2回開催 ・窓口サービスアップ研修受講率100% ・セルフチェックシートの提出100%		
業績目標	実績	・学習会の年2回開催 ・窓口サービスアップ研修受講率100% ・セルフチェックシートの提出100%	・学習会の年2回開催 ・窓口サービスアップ研修受講率100% ・セルフチェックシートの提出100%	自己評価
成果目標	実績	・不適切な事務処理事案の件数 0件 ・窓口サービス格付け調査の評価点平均3.5以上	・不適切な事務処理事案の件数 0件 ・窓口サービス格付け調査の評価点平均4	◎
中期展望		大正区役所に対する信頼が確保されている状態		
成果目標が中期展望に寄与する理由		不適切事務が発生しない状態の維持・継続、来庁者の満足度の向上を図っていくことが、大正区役所に対する信頼の獲得につながるものと考えられるため		

SDGsゴール	3	すべての人に健康と福祉を
	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--

取組番号	事業名	作成年月日・担当	重点	新規
5-4-14	保健福祉課(こども・教育グループ)窓口受付等業務	令和4年4月1日 保健福祉課(こども・教育)		

項目		内容
事業・業務概要	目的 (事業の背景を含む)	窓口受付業務は、来庁される区民と直接関わる業務であり、対応した職員のスキルや態度により、区役所に対するイメージが良くも悪くもなり、不適切な事務が発生すれば区役所に対する信用を失うことになる。各職員がスキルアップすることにより、区民サービスの向上・効率的な区行政の運営に取り組む。
	内容	保健福祉課の多岐にわたる受付業務において、丁寧で正確な対応を行えるように、受付業務に関する学習会を開催し、各種制度の知識向上及び課題の抽出・検討を行い不適切事務の発生を防ぐとともに、区で開催する接遇研修を受講し、笑顔・あいさつを心がけ、子ども連れの来庁者でも安全で安心して手続きができるよう取り組む。 また、他区の取組(改善策)を取り入れた事例等を課内で共有し、見直しを図りながら不適切な事務処理の発生を防ぐ。 【受付業務一覧】 ・児童手当・児童扶養手当・こども医療費助成・ひとり親医療費助成・ひとり親家庭サポート・母子父子寡婦貸付金
	予算額(予算科目)	—
	事業実施期間(回数)	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	事業対象者(人数)	—
	契約・入札方法	—
委託関係	募集要項のポイント	—
	仕様書のポイント	—
	選考委員等選考方式	—

スケジュール(実施決裁、入札募集開始、説明会、選考会、事業の実施 等)			広報スケジュール	スケ	作業
(前年度)	1月～3月	受付業務の見直し・改善		○	○
	4月～5月	受付業務に関する学習会の開催 課題の抽出、検討		○	○
	6月～7月	受付業務に関する学習会の開催 課題の抽出、検討		○	○
	8月～10月	不適切事務の発生防止に向けた改善事例の共有、事務の改善 接遇研修の受講、接遇強化月間(11月・12月)の取組の実施		○	○
	11月～12月	課題の抽出、検討 受付業務の見直し・改善		○	○
備考					

項目		内容		
講座・イベント・会議名		—		
イベント等開催関係	開催日時	—		
	開催場所	—		
	区役所の主催等	—		
	その他主催団体・組織等	—		
	共催団体・組織等	—		
	後援団体・組織等	—		
	目標事業規模	—		
	その他留意事項	—		
	イベント等 当日タイムテーブル	—		
	挨拶者	—		
	来賓紹介	—		
	祝電紹介の方法	—		
動員の方法	—			
その他他課との連携等		—		
前年度実績		・学習会開催：年2回（令和3年度） ・区で開催する接遇研修の受講率：新規転入者100% ・窓口サービス格付け調査の評価点平均：4.0（令和3年度） ・不適切な事務処理事案の件数：3件（令和3年度）		
業績目標	実績	・学習会開催：年2回 ・区で開催する接遇研修の受講率：100%	・学習会開催：年2回 ・接遇研修の受講率：100%	自己評価
				○
成果目標	実績	・窓口サービス格付け調査の評価点平均 3.5以上 ・不適切な事務処理事案の件数 0件	・評価点平均 4.0 ・不適切事案 2件	×
中期展望		大正区役所に対する信頼が確保されている状態		
成果目標が 中期展望に 寄与する理由		不適切事務が発生しない状態の維持・継続、来庁者の満足度の向上を図っていくことが、大正区役所に対する 信頼の獲得につながるものと考えられるため		

SDGsゴール	3	すべての人に健康と福祉を
	16	平和と公正をすべての人に

修正履歴	
------	--